

第3章 浦添市の人口推計及び児童数・学級数推計

浦添市の将来における小学校児童数を推計するにあたり、はじめに浦添市全域及び11小学校区毎に人口推計を行う。その際、現在開発等が行われている地域の人口増加を考慮する。その後、校区毎に推計された結果より、将来児童数(小学1～6年生)を抽出し、さらに、校区毎に抽出された将来児童全数が、校区内の学校に通学していないこと(校区外通学)から、実績にもとづいた補正を行って各校の通学児童数を推計し、その推計通学児童数に対し、学級数を国や県の学級編成(1学級の構成人数)基準にならい、算出する。

3-1 人口推計の方法について

将来人口を推計する方法として「コーホート変化率法」と「コーホート要因法」がある。浦添市においては、次に掲げるような幾つかの整備計画、整備中の事業があり、それによる人口変動が考えられることから、本推計においては、要因法を用いて推計する。

コーホート要因法は、男女・年齢別のある年の人口を基準として、「出生」「死亡」「移動」に関する将来の仮定値をあてはめて将来人口を推計する方法である。

本推計では、指定区域別年齢別男女別人口(浦添市内11小学校区別人口)から得られる男女1歳階級別人口を基準とし、「出生」に関する仮定値として出生率、「死亡」に関する仮定値として生残率、「移動」に関する仮定値として純移動率を設定する。

また、「出生」及び「死亡(生残率)」については、それぞれ、低位・中位・高位の3段階を設定し、それらの組み合わせによって9つ(=3×3)の推計を行う。

3-1-1 人口推計の考え方と基準となる値

◆推計における基本諸元

推計期間：2018年(平成30年)～2037年(平成49年)まで

推計間隔：1年刻み

推計対象：男女別1歳階級別人口(0歳～84歳、85歳以上)

推計地域：浦添市内小学校11校区

地域整備計画：

- 【1】浦添南第一土地区画整理事業(82.4ha)
- 【2】浦添南第二土地区画整理事業(60.4ha)
- 【3】てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業(18.7ha)
- 【4】前田駅周辺土地区画整理事業(2.0ha)
- 【5】牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用(約274ha)

*¹ コーホートとは、ある年(またはある期間)に出生した集団をあらわす。

(1)人口推計の基準となる値

人口推計の基準となる値や設定値を以下に示す。

◆将来値の設定に利用するデータ

1. 基準人口	浦添市の指定区別年齢別男女別人口調(2017年5月1日作成)
2. 生残率	2011年から2016年までの沖縄県衛生統計年報(人口動態編)の浦添市の死亡数から算出した値(平均値)
3. 純移動率	2011年から2016年までの浦添市の住民基本台帳年齢別人口を基本的に利用し、1年後の年齢と比較してどれだけ人口の移動によって増減したかを率で求める。また、その際に純粹に移動に関わらない人口を(生残率を用いて)考慮する。
4. 出生数	2011年から2016年までの沖縄県衛生統計年報(人口動態編)の浦添市の出生数
5. 出生者数	2011年から2016年までの浦添市の人口(浦添市企画部の統計データ)の年齢別女性人口(15~49歳)を用いる
6. 特殊出生率	2011年~2016年の出生数、出生者数の実績より算出
7. 男女出生性比	2011年から2016年までの沖縄県衛生統計年報(人口動態編)の浦添市の「男女別出生数」の性比(平均値)

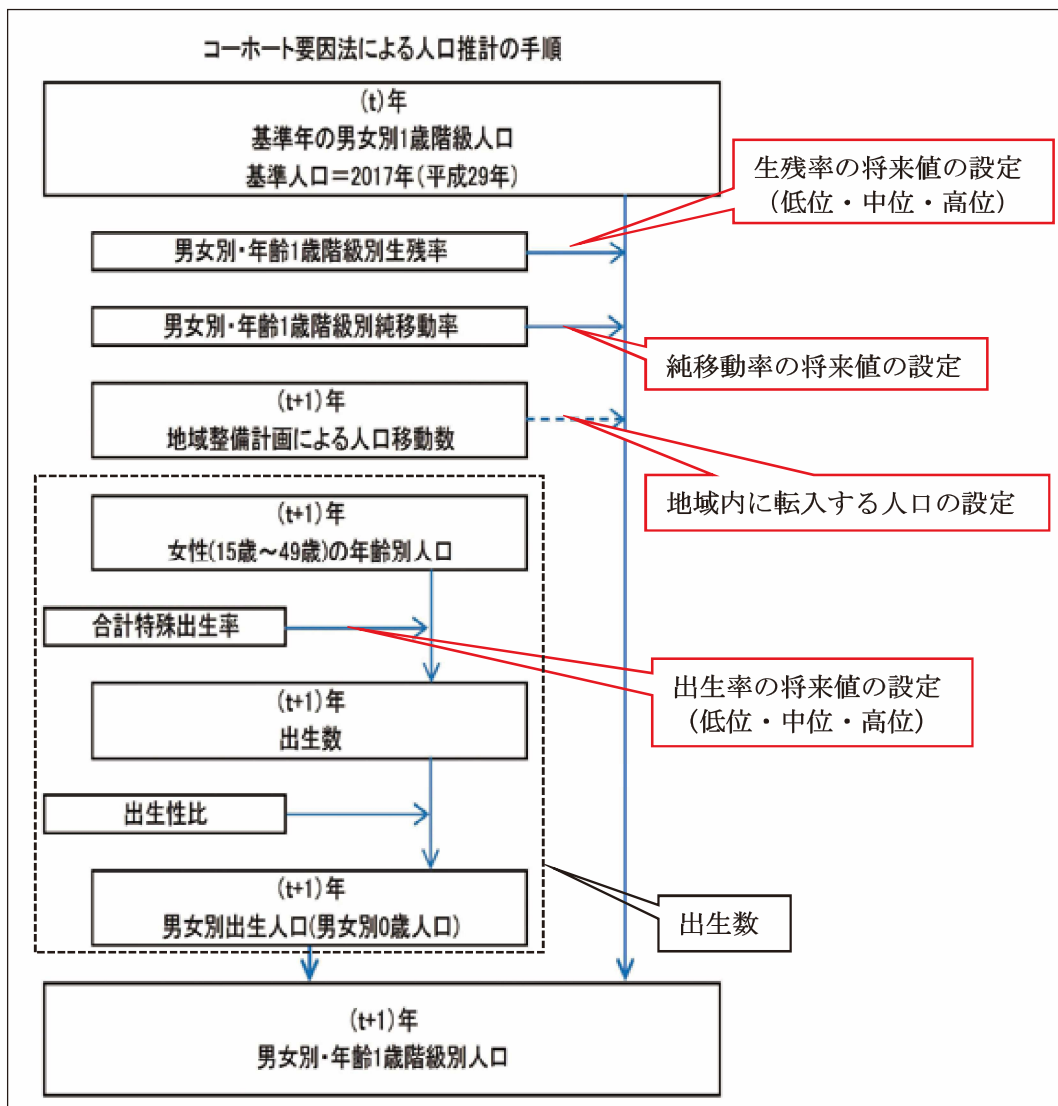
◆将来値の設定

1. 生残率	低位	国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の男女別年齢将来生命表の(死亡率の)高位推移に比例
	中位	国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の男女別年齢将来生命表の(死亡率の)中位推移比例
	高位	国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の男女別年齢将来生命表の(死亡率の)低位推移に比例
2. 純移動率	2011年から2016年の推計値で固定(平均値)	
3. 特殊出生率	低位	2011年から2016年の推計値で固定(平均値) (合計特殊出生率1.90)
	中位	国の指針では2030年に希望出生率である1.8、2040年に人口置換水準である2.07を設定しているため、2040年に人口置換水準を設定
	高位	国の指針では2030年に希望出生率である1.8、2040年に人口置換水準である2.07を設定しているが、浦添市ではすでに1.80を超えているため、2030年に人口置換水準を設定

(2)人口推計のフロー

コーホート要因法による人口推計の手順を以下に示す。人口の推計は、生残率・純移動率・合計特殊出生率の将来値を設定する必要があるため、浦添市の実績に基づいた将来値を設定する。また、地域整備計画による人口増加については、計画人口の算出、人口転入期間や転入する人口の構成等を設定する。

図 3.1 人口推計のフロー図



3-1-2 地域整備計画による転入人口の設定

(1) 地域整備計画による転入人口

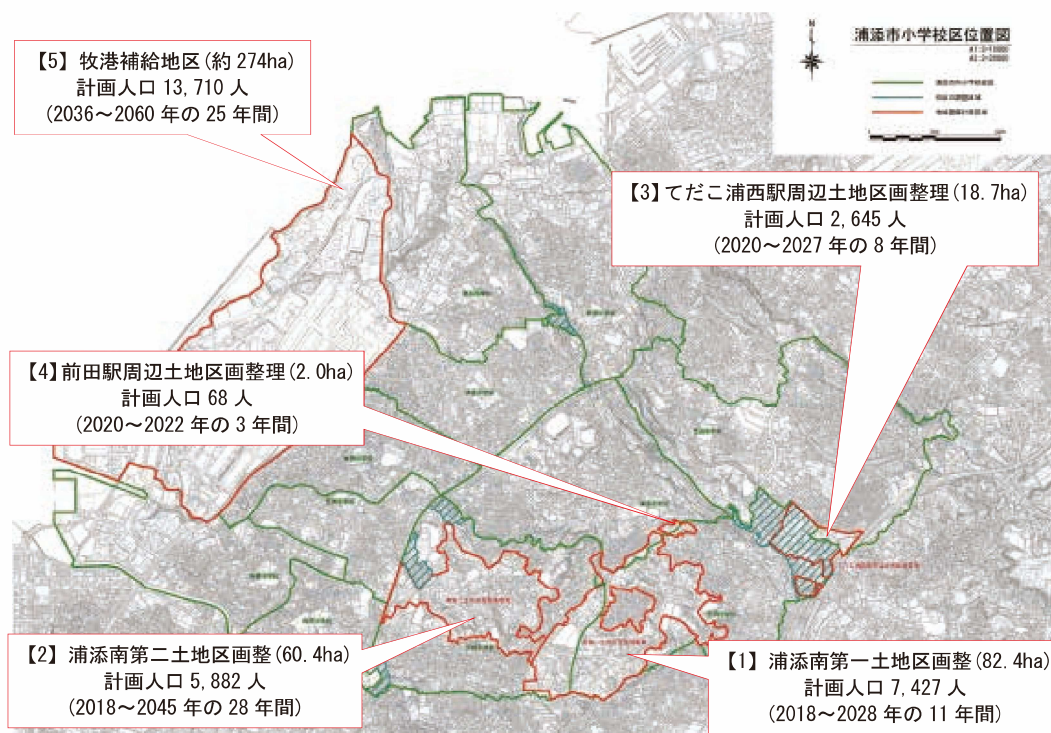
浦添市では、現在、下表の事業が実施中、或いは認可・計画されている。下表における「推計に用いる計画人口」は、これら事業の計画人口ではなく、現在までのこれら事業の開発動向を踏まえるとともに、将来において、これらの事業地域に居住可能な人口を、容積率や空き家率等を考慮して算出した。また、人口密度はその算出した計画人口を整備面積で除して算出している。

◆地域整備計画

地域整備計画	整備面積	推計に用いる計画人口	人口転入期間	備考 (人口密度)
【1】浦添南第一土地区画整理事業	82.4ha	7,427人	平成30(2018)年 ～平成40(2028)年	90.1人/ha
【2】浦添南第二土地区画整理事業	60.4ha	5,882人	平成30(2018)年 ～平成57(2045)年	97.4人/ha
【3】てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業	18.7ha	2,645人	平成32(2020)年 ～平成39(2027)年	141.4人/ha
【4】前田駅周辺土地区画整理事業	2.0ha	68人	平成32(2020)年 ～平成34(2022)年	34人/ha
【5】牧港補給地区(キャンプキンザ一)の跡地利用	約274ha	13,710人	平成48(2036)年 ～平成72(2060)年	50人/ha

※本業務の推計期間は、平成30(2018)年～平成49(2037)年である

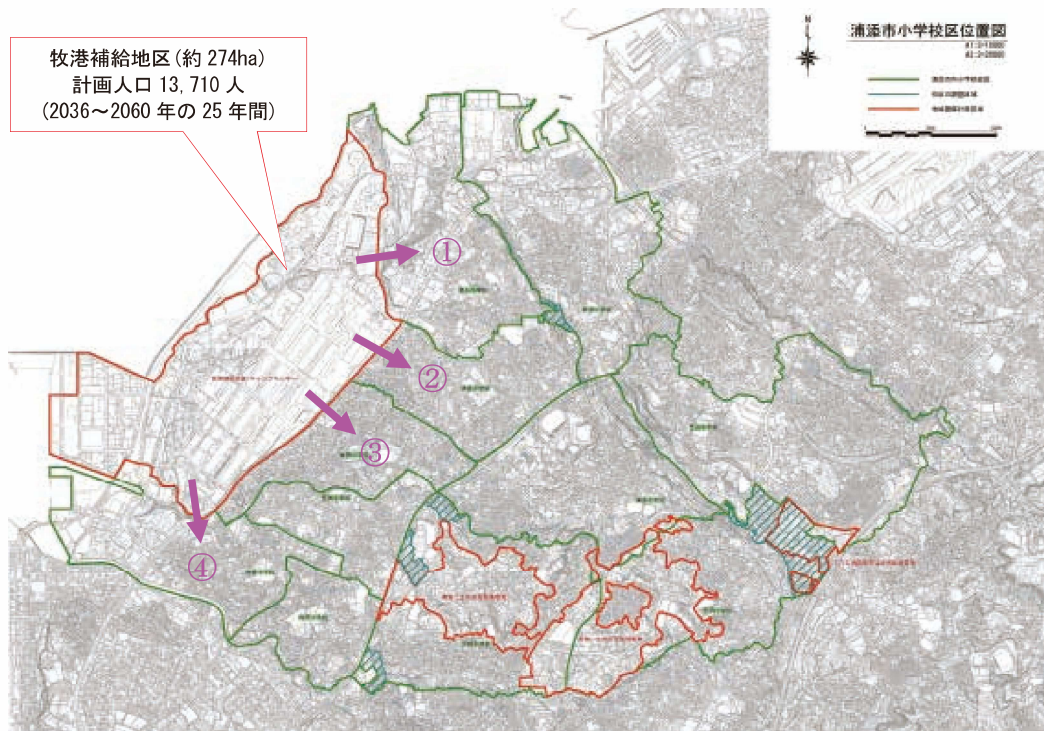
図 3.2 地域整備計画による転入人口一覧図



(2) 牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響

牧港補給地区(キャンプキンザー)は、牧港補給地区内に小学校区がないため隣接する小学校区(①港川小学校区、②浦城小学校区、③仲西小学校区、④神森小学校区)に等分に転入するものとした。また、人口転入は、平成 48(2036)年～平成 72(2060)年の 25 年間で、各校区に約 3,400 人の転入が見込まれる。

図 3.4 牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響



3-2 浦添市・小学校区別の人口推計

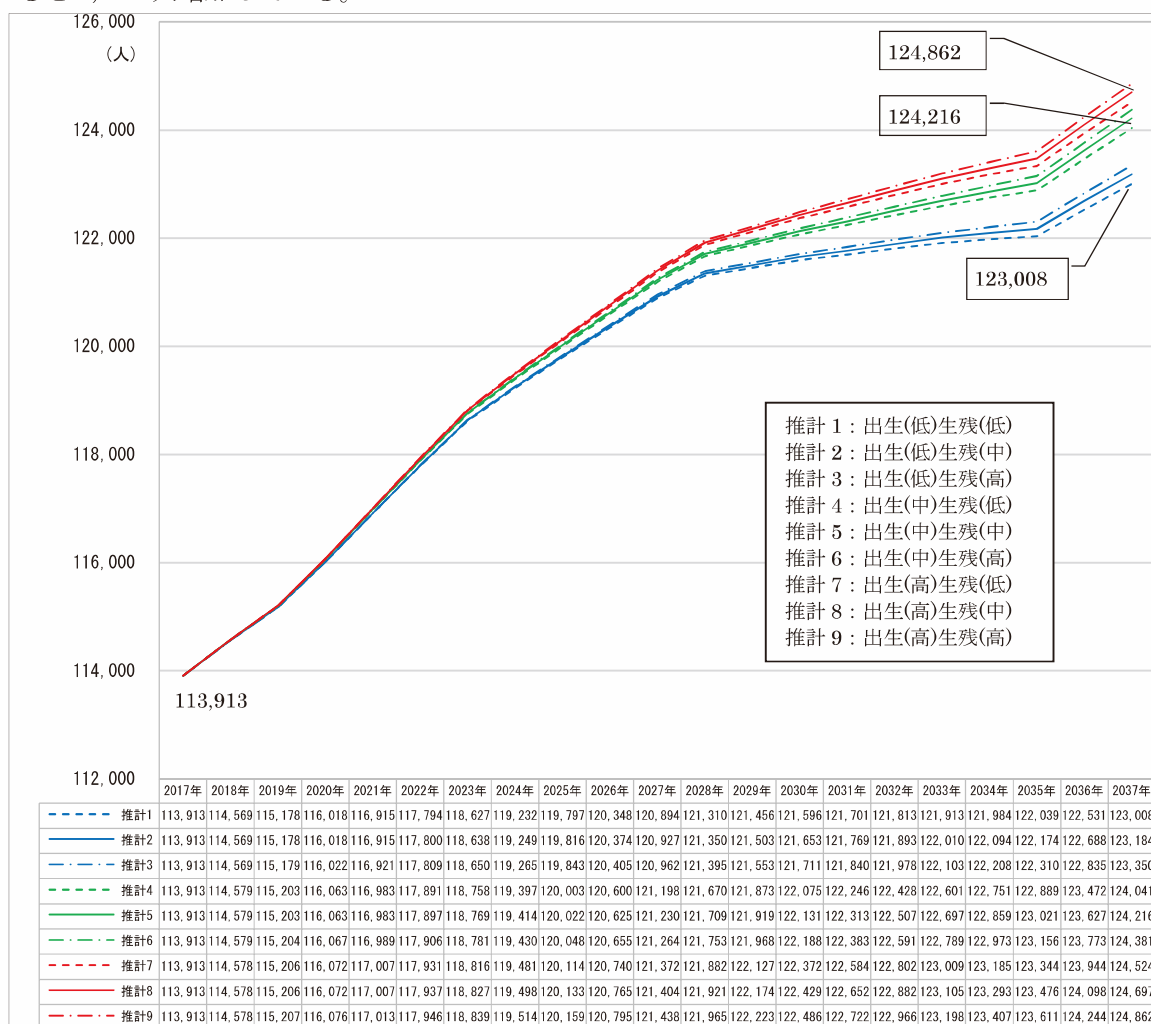
浦添市の人口推計結果(0歳～85歳以上)について、「出生」及び「死亡(生残率)」について、それぞれ、低位・中位・高位の3段階の組み合わせによって、9つ(3×3)の推計を行った。

3-2-1 浦添市の人口推計

(1) 浦添市の人口推計(出生と生残率の組み合わせによる9パターン)

浦添市における将来人口の推計結果を以下に示す。浦添市の人口は、平成49(2037)年に123,008人(最小)～124,862人(最大)と想定される。(推計の幅:1,854人)

出生率:中位・生残率:中位における、2037年(推計後)の人口は、2018年と比較すると9,637人増加している。



生:(低)は、出生率(低位)、残:(中)は、生残率(中位)を表す。

(2) 地域整備計画の影響

浦添市の人口推計で、地域整備計画の影響について比較を行った。比較では出生率：中位、生残率：中位を用いる。推計Aは現状(地域整備計画を考慮しない場合)の推計、推計Bは5つの地域整備計画による人口転入を考慮した推計である。

推計Aの場合、浦添市の人口は微増加傾向にあり、平成41(2036)年頃にピークを迎え、推計後の平成49(2037)年には、平成2,236人増加する。推計Bの場合、地域整備計画による人口転入の継続が想定されるため人口は増加し続ける。推計後(2037年以降)においても、地域整備計画による人口転入は継続される。

図 3.3 地域整備計画による人口推計への影響(出生率：中位・生残率：中位)

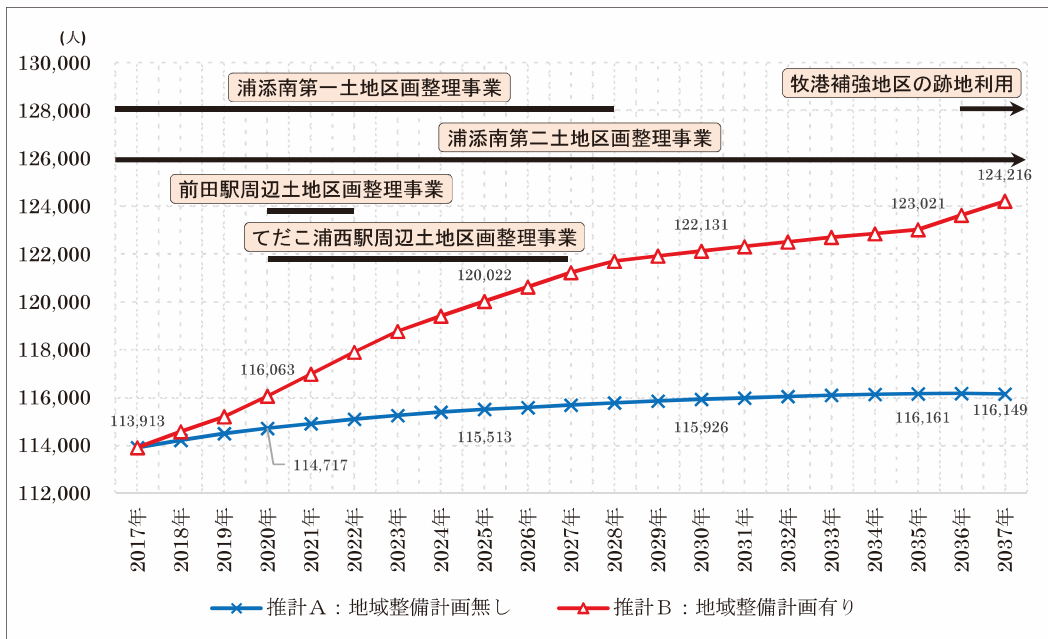


表 3.1 地域整備計画による人口推計への影響(出生率：中位・生残率：中位)

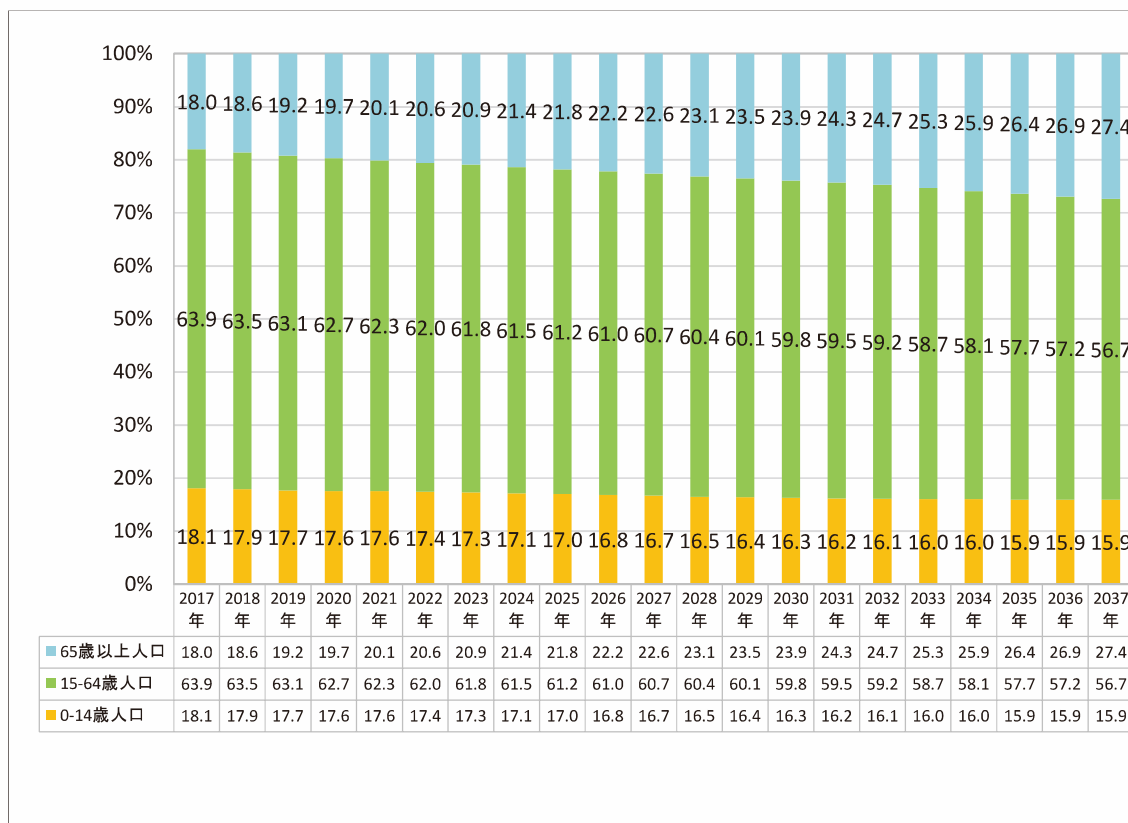
	平成 29 年	平成 32 年	平成 37 年	平成 42 年	平成 47 年	平成 49 年
	2017 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2037 年
推計 A：地域整備計画無し	113,913 人	114,717 人	115,513 人	115,926 人	116,161 人	116,149 人
推計 B：地域整備計画有り	113,913 人	116,063 人	120,022 人	122,131 人	123,021 人	124,216 人
人口増の差(推計 B-推計 A)	—	1,346 人	4,509 人	6,205 人	6,860 人	8,067 人

(3) 年齢3区分の推移

浦添市の人口推計で、年齢3区分人口（年少、生産、老年）の推移を検証した。検証では、出生率：中位、生残率：中位を用いる。

年少人口(0～14歳)及び生産年齢人口(15～64歳)の割合は共に減少傾向にある。

浦添市の人口は増加に伴い、老年人口(65歳以上)の割合も約1割程度増加し、2037年では市全体の約3割程度を占める。



3-2-2 小学校区別の人口推移

(1) 小学校区別の人口推移

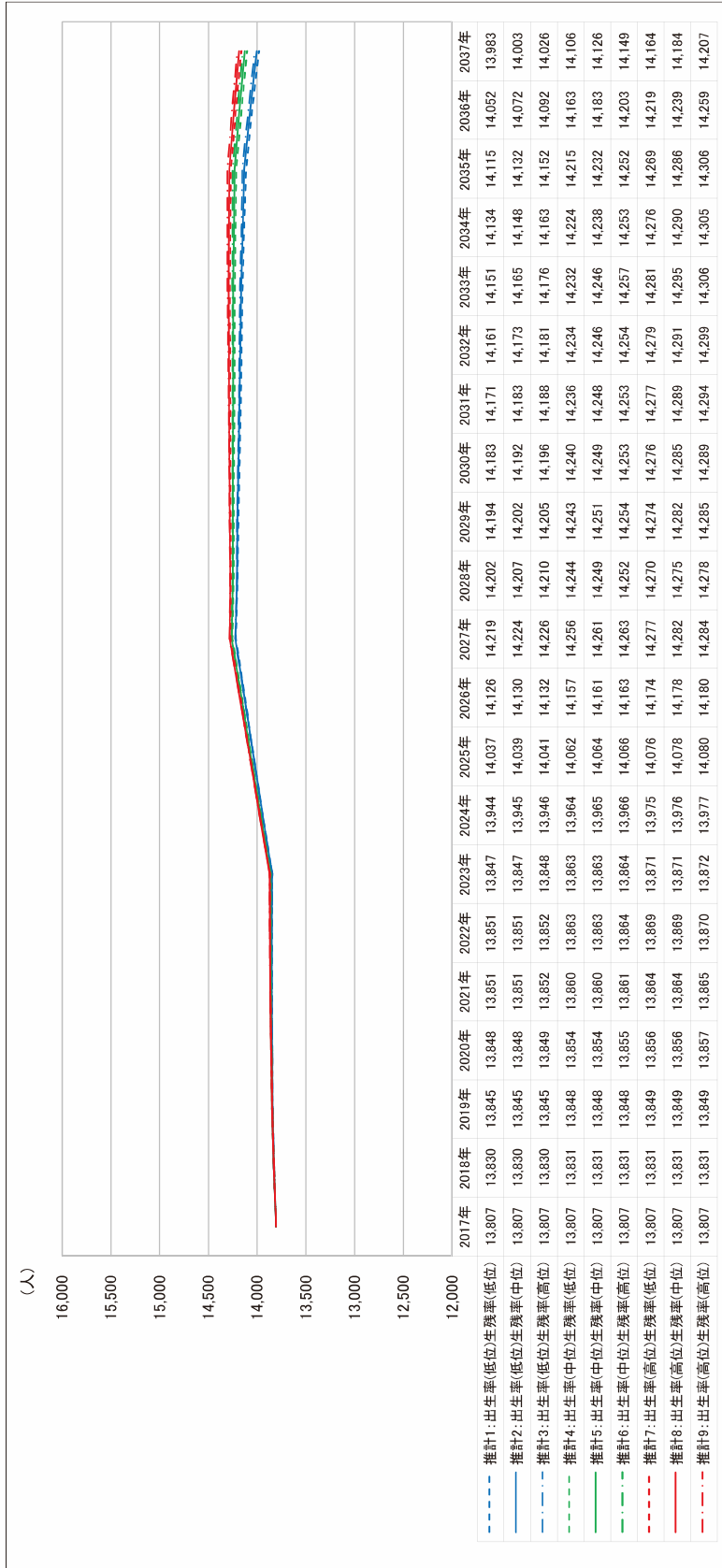
浦添市の将来人口の推計結果は増加傾向にあるものの、地域整備計画等により、地域毎に人口の伸びが異った。前田小学校区は、浦添南第一土地区画整理事業及びてだこ浦西駅周辺土地区画整理事業による人口増加が見込まれる。

沢岬小学校区は、浦添南第一土地区画整理事業及び浦添南第二土地区画整理事業による人口増加が見込まれる。また、浦添南第二土地区画整理事業については計画人口の達成が平成 47(2038)年以降であるため、本推計期間以降も人口増加が見込まれる。

表 3.2 人口の推移（出生率：中位、生残率：中位）

学校区	人口の推移			人口の増減 (2018→2037)
	平成 30(2018)年	平成 39(2027)年	平成 49(2037)年	
浦添市全体	114,579 人	121,230 人	124,216 人	9,637 人
当山小学校区	13,831 人	14,261 人	14,126 人	295 人
前田小学校区	8,620 人	13,199 人	13,347 人	4,727 人
牧港小学校区	8,285 人	8,155 人	8,038 人	-247 人
浦添小学校区	8,416 人	8,365 人	8,257 人	-159 人
沢岬小学校区	10,933 人	13,474 人	15,410 人	4,477 人
宮城小学校区	9,934 人	9,825 人	9,784 人	-150 人
仲西小学校区	11,887 人	11,697 人	11,853 人	-34 人
内間小学校区	8,580 人	8,548 人	8,560 人	-20 人
神森小学校区	8,705 人	8,531 人	8,830 人	125 人
浦城小学校区	13,179 人	13,099 人	13,468 人	289 人
港川小学校区	12,209 人	12,076 人	12,543 人	334 人

1. 当山小学校区の人口推移

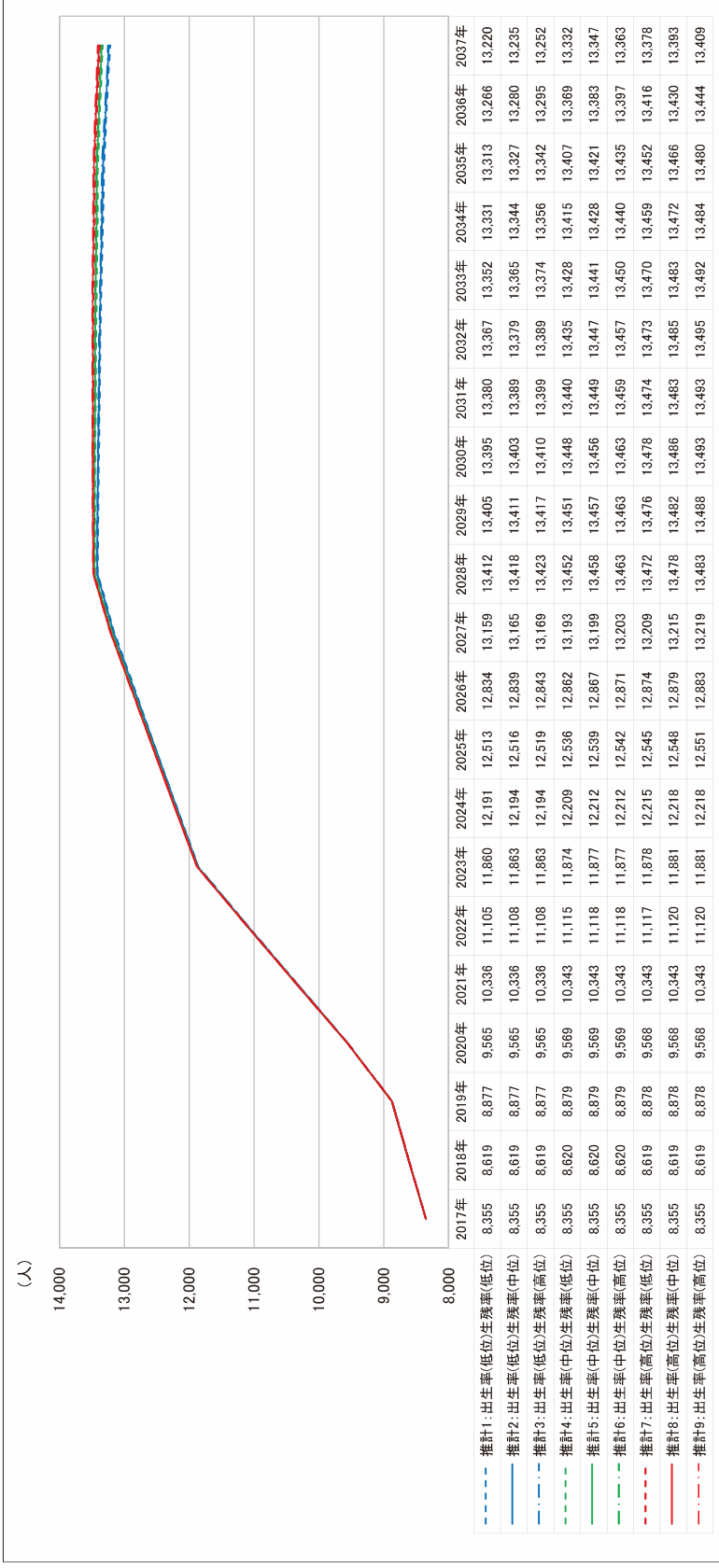


・当山小学校区の人口は、平成 49 (2037)年に 13,983 人(最小)と想定される。(推計の幅：224 人)

・出生率：中位・生残率：中位について、2037 年(推計後)の人口は、2018 年と比較すると 295 人の増加である。

・当山小学校区の人口は、ただこ浦西駅周辺土地区画整理事業による人口増加が見込まれ、2029 年頃に人口のピークを迎える。その後、徐々に人口が減少していくと見込まれる。

2. 前田小学校区の人口推移

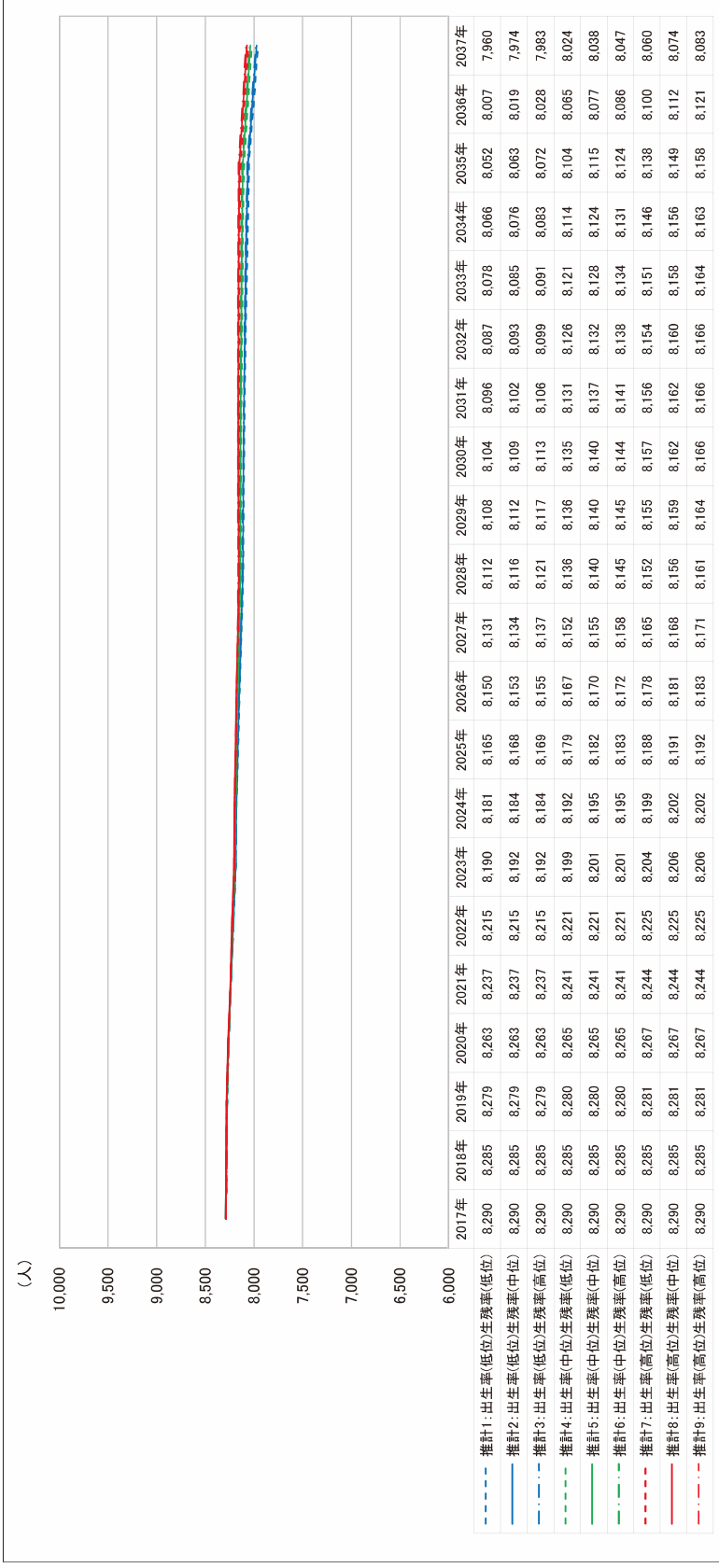


・前田小学校区の人口は、平成 49(2037)年に 13,220 人(最小)と想定される。(推計の幅：189 人)

・出生率：中位・生残率：中位について、2037 年(推計後)の人口は、2018 年と比較すると 4,727 人の増加である。

・前田小学校区の人口は、ただこ浦西駅周辺土地区画整理事業及び浦添南第一土地区画整理事業・前田駅周辺土地区画整理事業による人口増加が見込まれる。

3. 牧港小学校区の人口推移



・牧港小学校区の人口は、平成 49 (2037) 年に 7,960 人 (最小) ～8,083 人 (最大) と想定される。(推計の幅：123 人)

・出生率：中位・生残率：中位について、2037 年 (推計後) の人口は、2018 年と比較すると 247 人の減少である。

・牧港小学校区の人口は減少傾向になると見込まれる。また、本来の人口減少傾向に加え、浦添市内の地域整備計画の市内移動による人口転出が見込まれる。

4. 浦添小学校区の人口推移



・浦添小学校区の人口は、平成49(2037)年に8,183人(最小)と想定される。(推計の幅：119人)

・出生率：中位・生残率：中位について、2037年(推計後)の人口は、2018年と比較すると159人の減少である。

・浦添小学校区の人口は前田駅周辺土地区画整理事業による人口増加が見込まれるが、2019年頃に人口のピークを迎えた後、人口が減少傾向になると見込まれる。また、浦添市内の地域整備計画の市内移動による人口転出が見込まれる。

5. 沢砥小学校区の人口推移

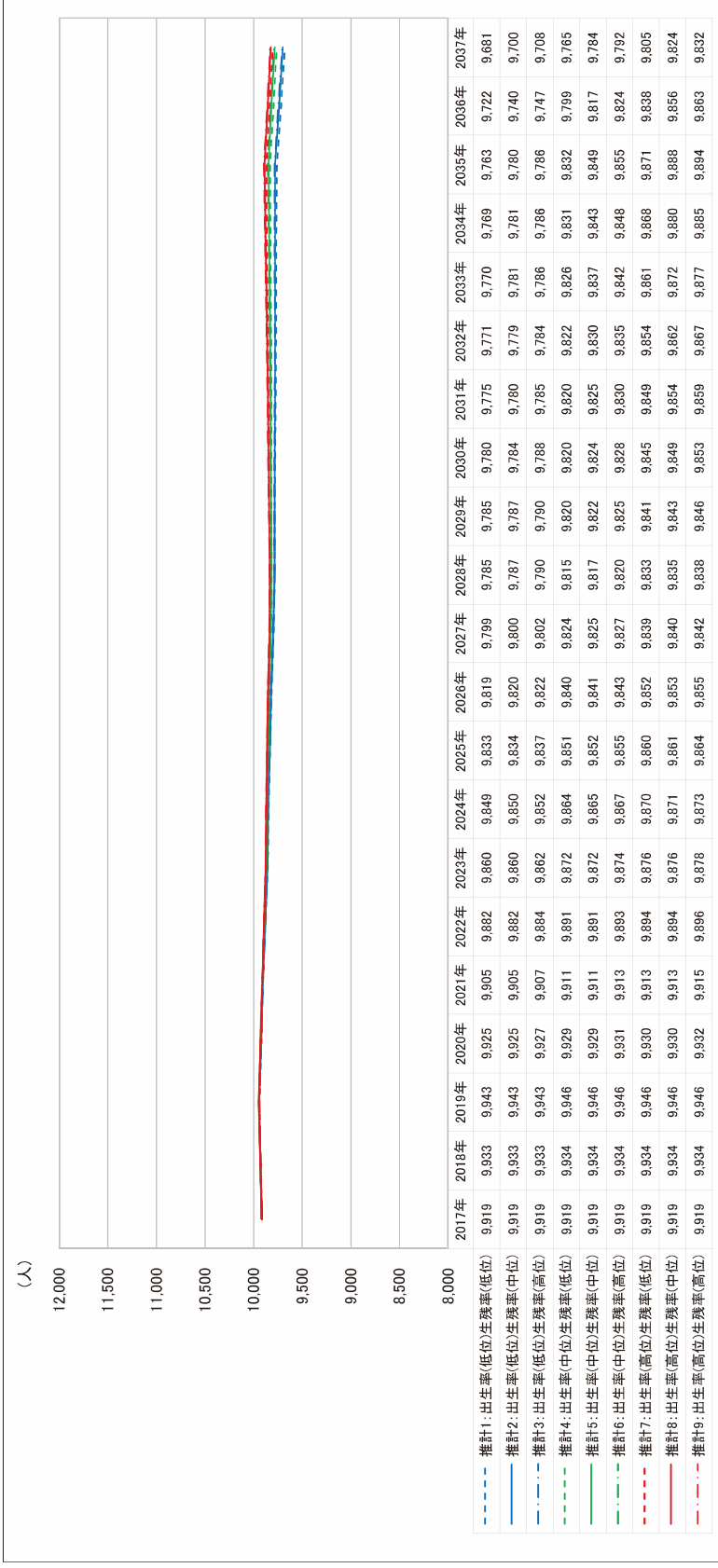


・ 沢砥小学校区の人口は、平成 49 (2037) 年に 15, 270 人 (最小) と想定される。(推計の幅 : 217 人)

・ 出生率 : 中位・生残率 : 中位について、2037 年 (推計後) の人口は、2018 年と比較すると 4, 477 人の増加である。

・ 沢砥小学校区の人口は、浦添南第一土地区画整理事業及び浦添南第二土地区画整理事業による人口増加が見込まれる。また、本推計期間以降も浦添南第二土地区画整理事業による人口増加が継続すると見込まれる。

6. 宮城小学校区の人口推移

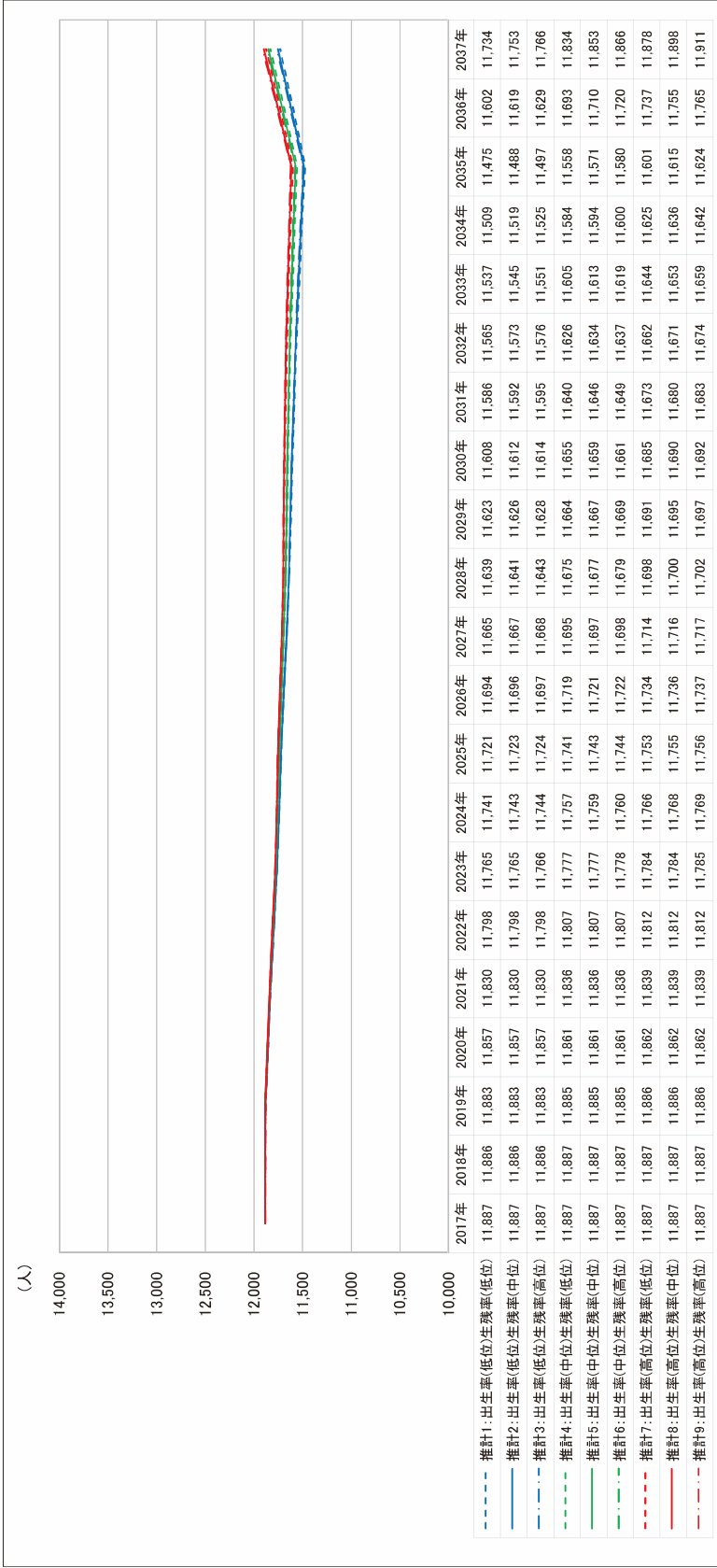


・宮城小学校区の人口は、平成 49 (2037) 年に 9,681 人 (最小) ~9,832 人 (最大) と想定される。(推計の幅：151 人)

・出生率：中位・生残率：中位について、2037 年 (推計後) の人口は、2018 年と比較すると 150 人の減少である。

・宮城小学校区の浦城小学校区の人口は推計期間中に微増減はあるものの、現在の人口を維持すると見込まれる。しかし、また、浦添市内の地域整備計画による人口転出が見込まれる。

7. 仲西小学校区の人口推移



・仲西小学校区の人口は、平成 49 (2037) 年に 11,734 人(最小)と想定される。(推計の幅：177 人)

・出生率：中位・生残率：中位について、2037 年（推計後）の人口は、2018 年と比較すると 34 人の減少である。

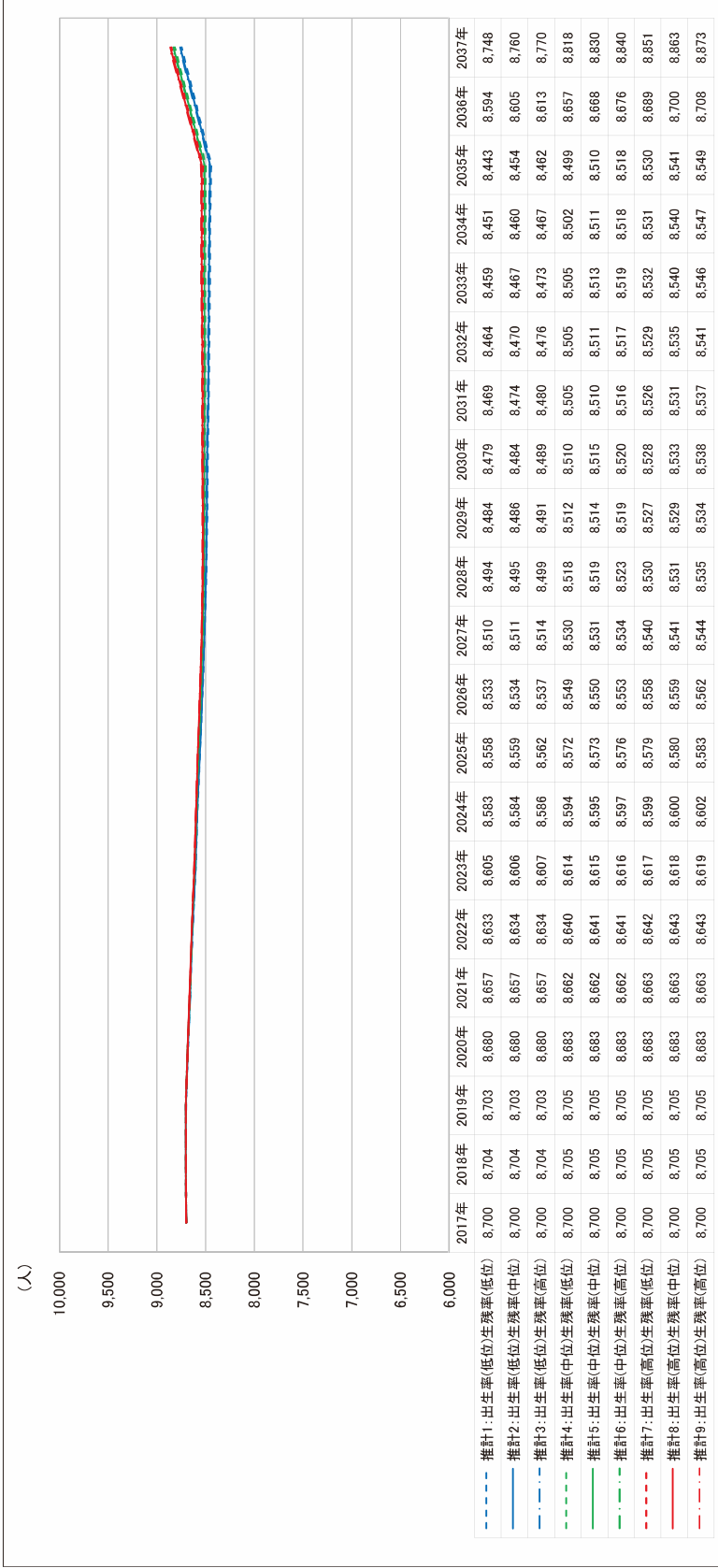
・仲西小学校区の人口は 2019 年にピークを迎え、減少傾向になると見込まれる。しかし、2036 年以降は牧港補給地区(キャンプギンザー)の跡地利用による人口増加があり、本推計期間以降も人口増加が継続すると見込まれる。

8. 内間小学校区の人口推移



- 内間小学校区の人口は、平成 49 (2037) 年に 8,485 人 (最小) ~ 8,612 人 (最大) と想定される。(推計の幅：1,854 人)
- 出生率：中位・生残率：中位について、2037 年 (推計後) の人口は、2018 年と比較すると 20 人の減少である。
- 内間小学校区の人口は推計期間中に微増減はあるものの、現在の人口を維持すると見込まれる。

9. 神森小学校区の人口推移



・神森小学校区の人口は、平成49(2037)年に8,748人(最小)～8,873人(最大)と想定される。(推計の幅：125人)

・出生率：中位・生残率：中位について、2037年(推計後)の人口は、2018年と比較すると125人の増加である。

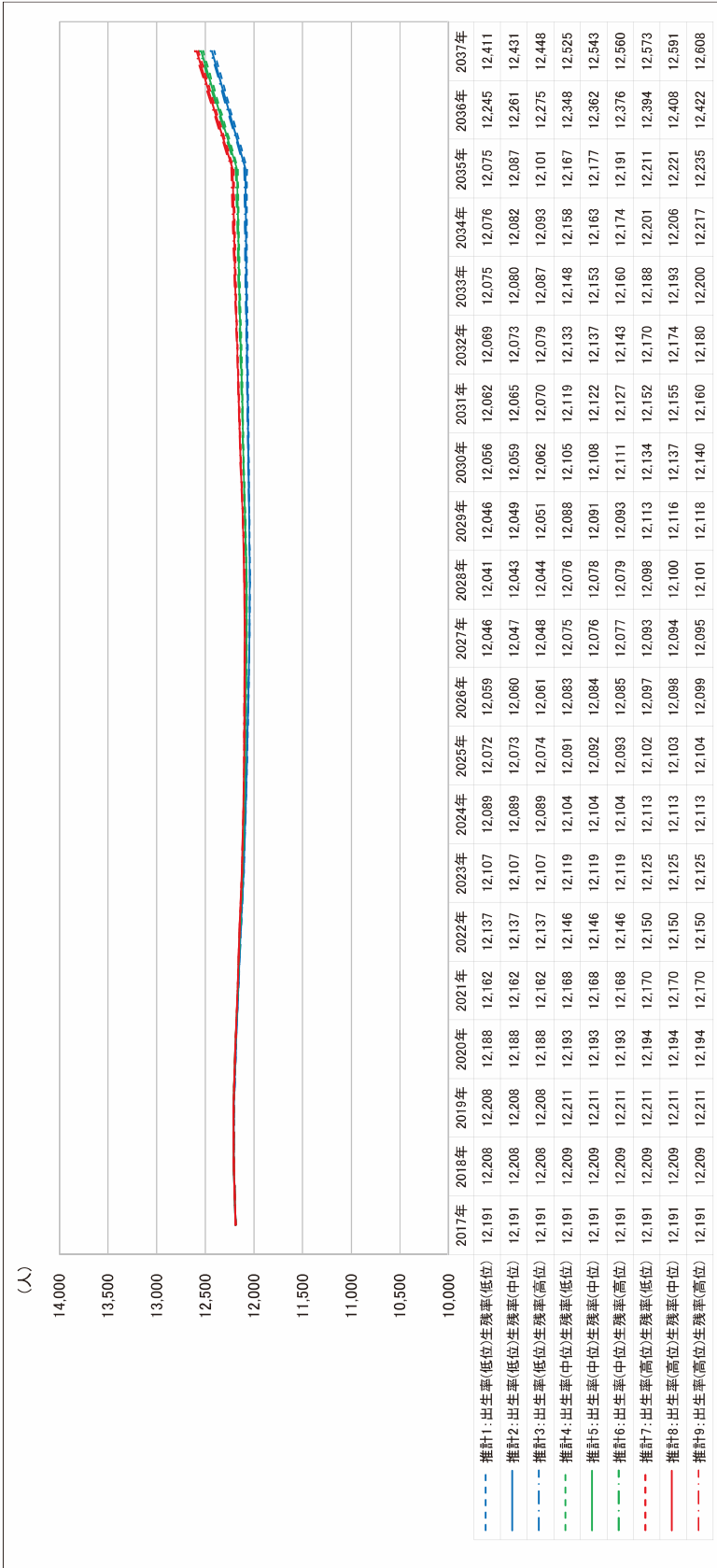
・神森小学校区の人口は2019年にピークを迎え、減少傾向になると見込まれる。しかし、2036年以降は牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による人口増加があり、本推計期間以降も人口増加が継続すると見込まれる。

10. 浦城小学校区の人口推移



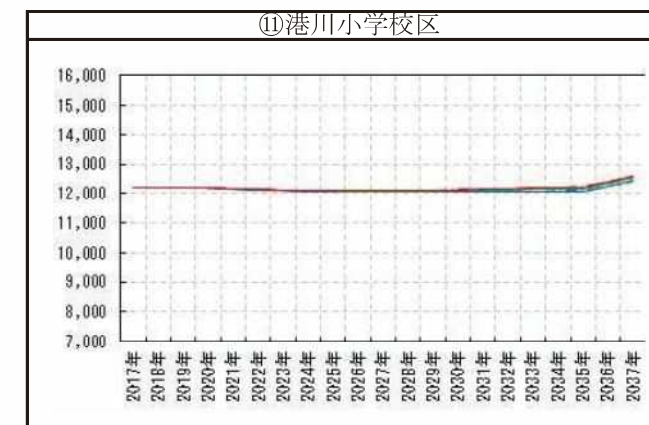
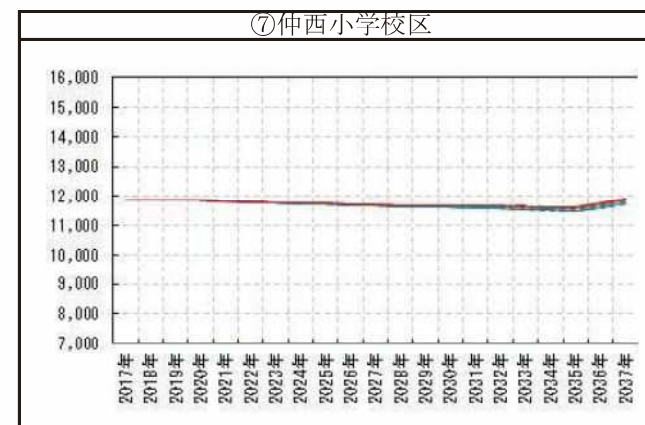
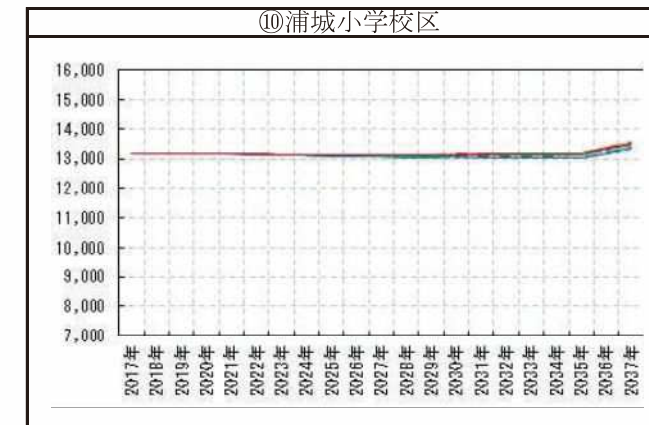
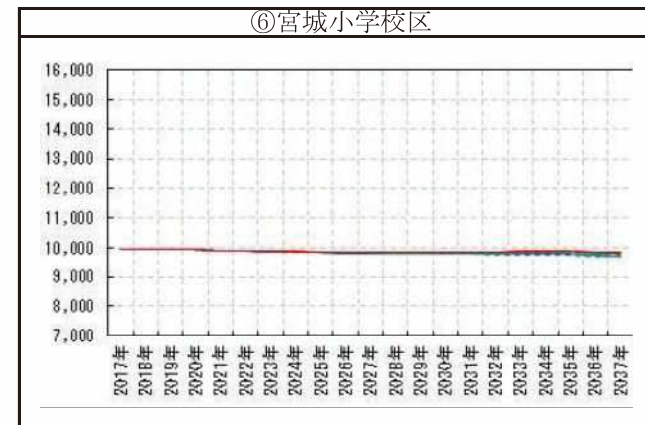
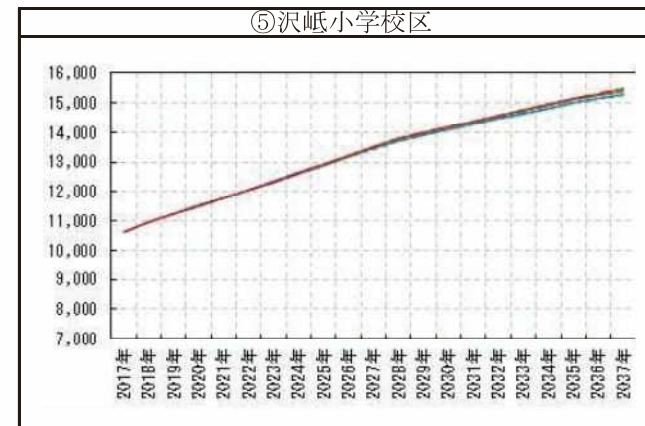
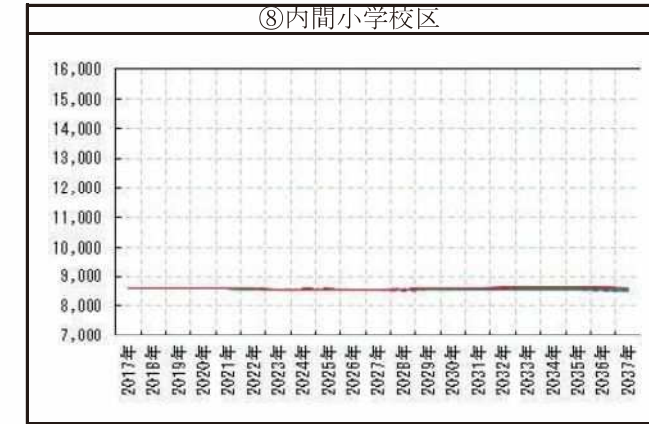
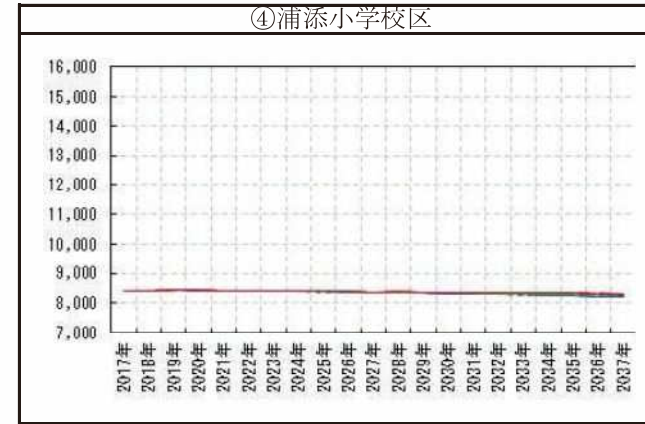
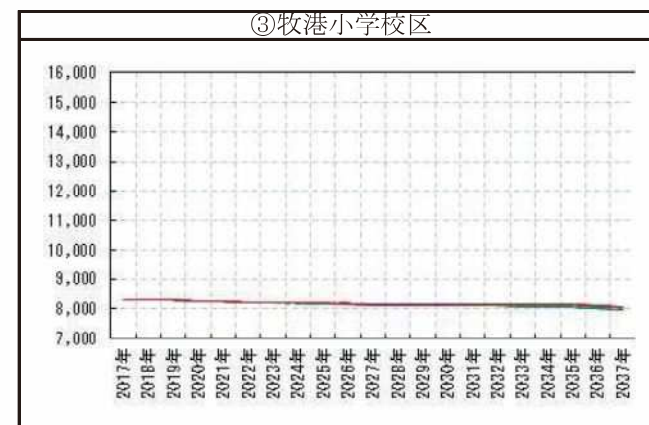
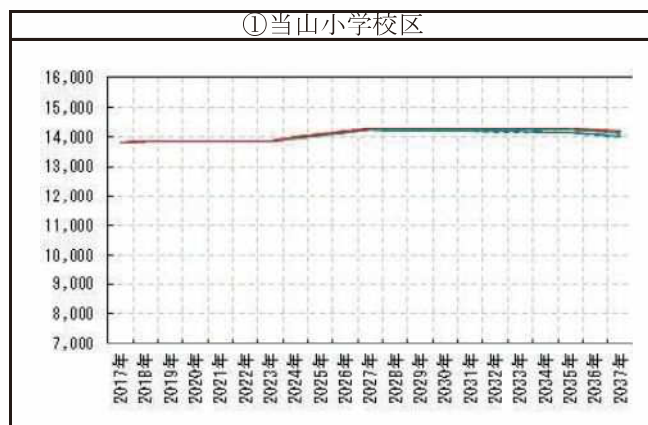
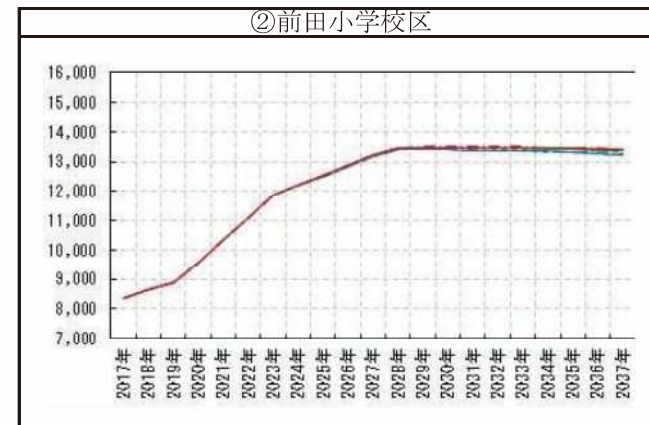
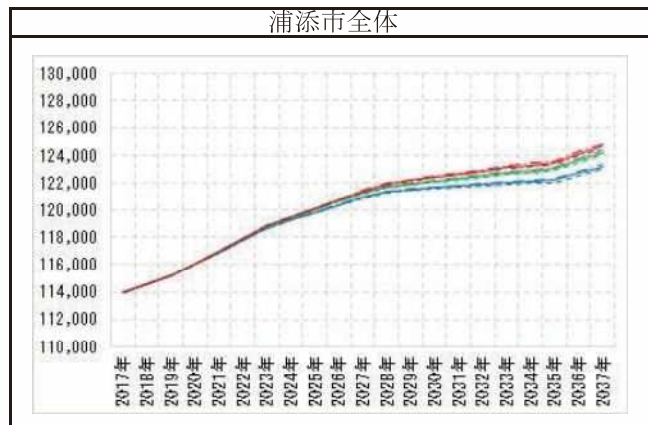
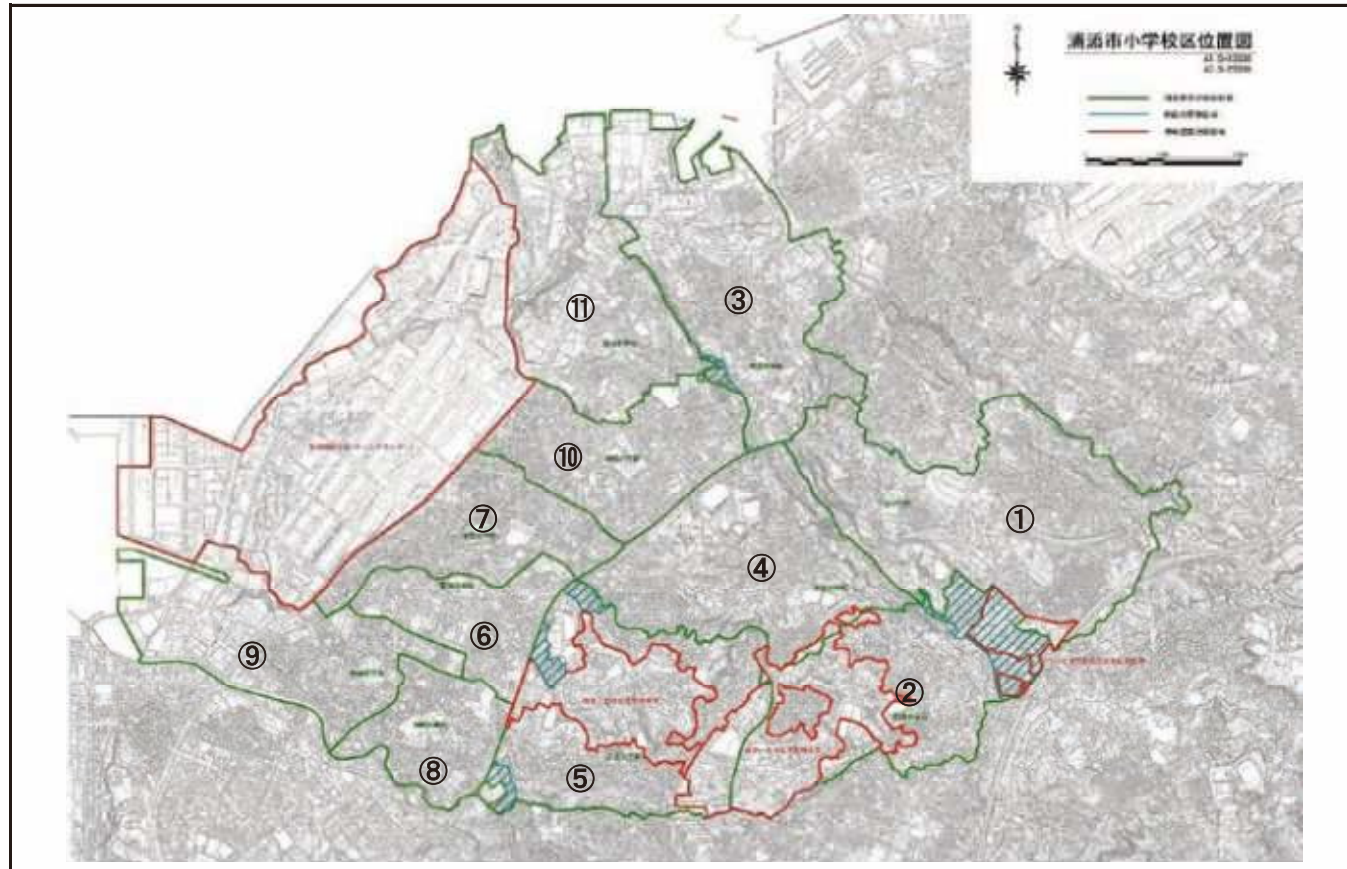
- 浦城小学校区の人口は、平成 49 (2037) 年に 13,333 人(最小)と想定される。(推計の幅：205 人)
- 出生率：中位・生残率：中位について、2037 年(推計後)の人口は、2018 年と比較すると 289 人の増加である。
- 浦城小学校区の人口は推計期間中に微増減はあるものの、現在の人口を維持すると見込まれる。また、2036 年以降は牧港補給地区(キヤンプキンザー)の跡地利用による人口増加があり、本推計期間以降も人口増加が継続すると見込まれる。

11. 港川小学校区の人口推移



- 港川小学校区の人口は、平成 49 (2037) 年に 12,411 人(最小)と想定される。(推計の幅：197 人)
- 出生率：中位・生残率：中位について、2037 年(推計後)の人口は、2018 年と比較すると 334 人の増加である。
- 港川小学校区の人口は推計期間中に微増減はあるものの、現在の人口を維持すると見込まれる。また、2036 年以降は牧港補給地区(キャンピングゾーン)の跡地利用による人口増加があり、本推計期間以降も人口増加が継続すると見込まれる。

各小学校区の人口推移



3-3 小学校別の児童数・学級数の推計

小学校区別の人口推計結果より、小学生の年齢にあたる児童数(6歳～11歳)を抽出し、その後に学級数を算出する。児童数の抽出及び学級数の算出にあたっては、生残率：中位、出生率：中位を用いる。

3-3-1 児童数の推計結果

(1) 通学率の設定

児童が校区内以外の学校に通ったりする等、校区内の児童数(6歳～11歳)と実際に通学する児童数が異なるため、通学率として校区毎に算出し、児童数の推計について補正を行う。

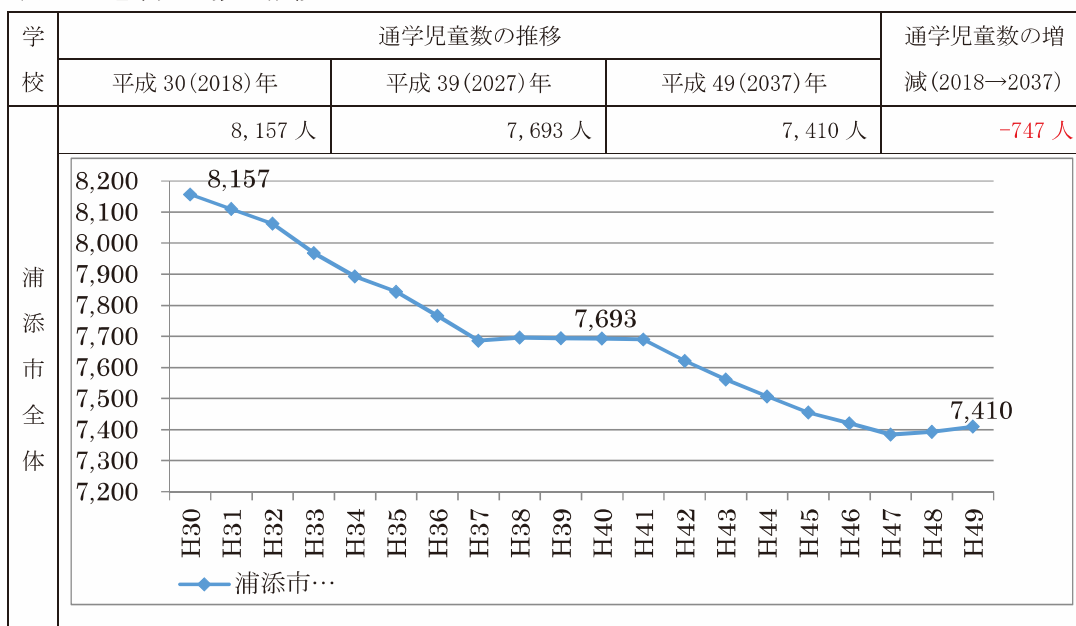
通学率は、平成29(2017)年の校区内児童数(6歳～11歳)と対象小学校の総児童数との割合から、11小学校それぞれの値を設定する。

	当山	前田	牧港	浦添	沢岬	宮城	仲西	内間	神森	浦城	港川
校区内児童数	1,129	598	496	605	791	785	716	578	596	981	1008
通学児童数	1,091	506	472	626	703	808	630	577	661	1034	917
通学率(%)	96.63	84.62	95.16	103.47	88.87	102.93	87.99	99.83	110.91	105.40	90.97

(2) 通学率を考慮した通学児童数の推移(出生率：中位・生残率：中位)

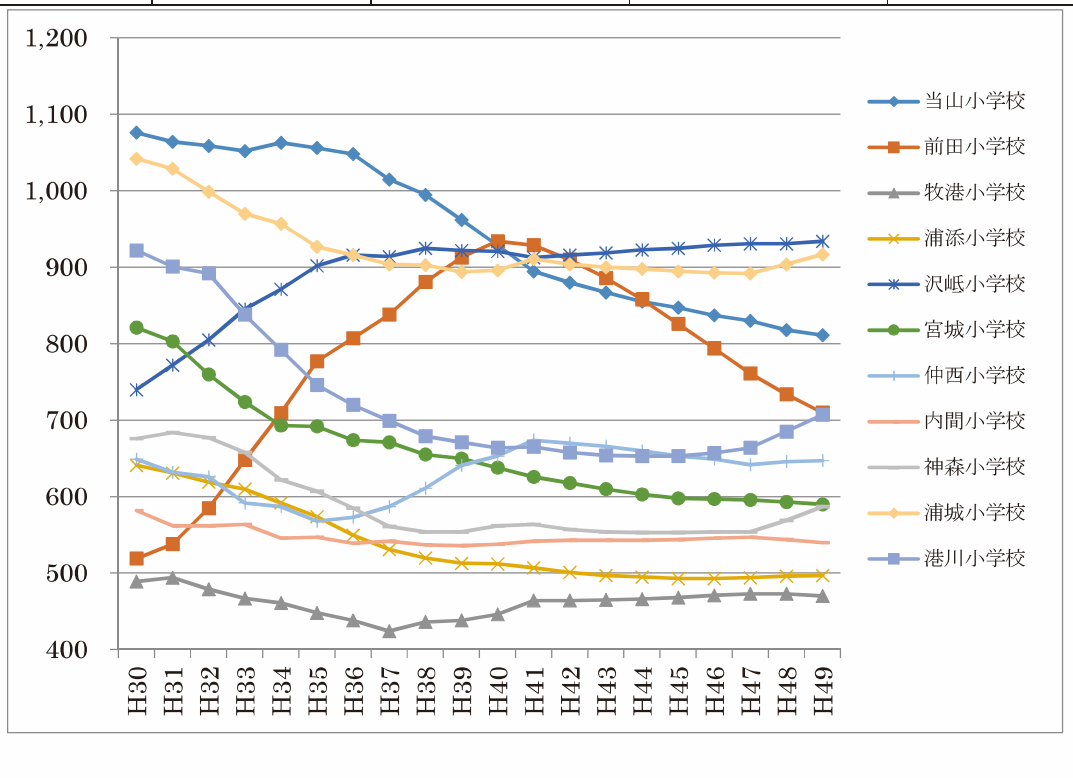
浦添市内の小学校へ通う通学児童数は平成30(2018)年では8,157人、平成49(2037)年では7,410人と平成30年の約1割747人減少となる。

表 3.3 通学児童数の推移



前田小学校と沢岨小学校については、地域整備計画による人口増加が見込まれるため、通学児童数が増加すると想定される。

学校	通学児童数の推移			通学児童数の増減(2018→2037)
	平成 30(2018)年	平成 39(2027)年	平成 49(2037)年	
当山小学校	1,076 人	962 人	811 人	-265 人
前田小学校	519 人	913 人	710 人	191 人
牧港小学校	489 人	438 人	470 人	-19 人
浦添小学校	641 人	513 人	497 人	-144 人
沢岨小学校	740 人	922 人	934 人	194 人
宮城小学校	821 人	650 人	590 人	-231 人
仲西小学校	649 人	641 人	647 人	-2 人
内間小学校	582 人	536 人	540 人	-42 人
神森小学校	676 人	554 人	587 人	-89 人
浦城小学校	1,042 人	894 人	917 人	-125 人
港川小学校	922 人	671 人	707 人	-215 人

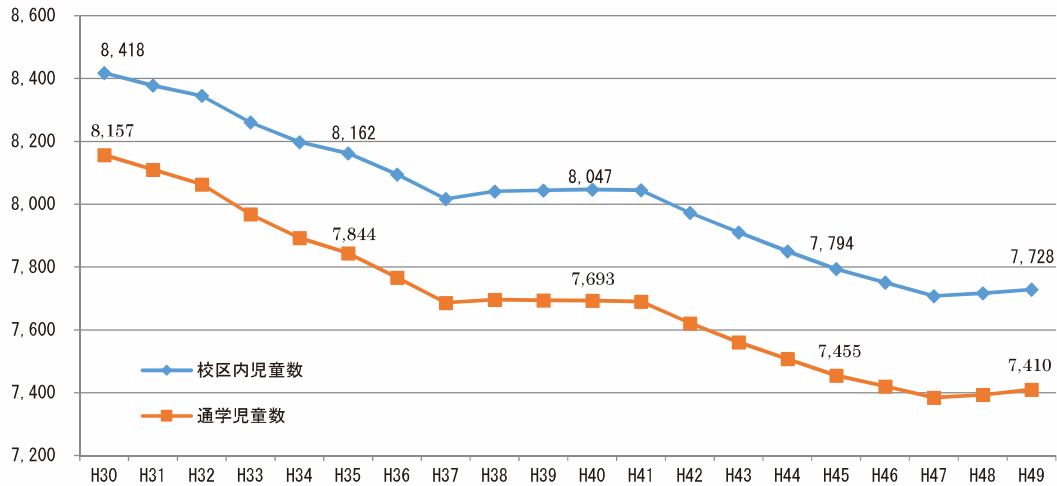


◆浦添市全体の推計結果

浦添市全体の推計結果

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	8,418	8,378	8,345	8,260	8,198	8,162	8,095	8,017	8,041	8,044	8,047	8,045	7,973	7,910	7,850	7,794	7,751	7,708	7,717	7,728
通学児童数	8,157	8,110	8,063	7,968	7,893	7,844	7,766	7,686	7,696	7,694	7,693	7,690	7,621	7,561	7,507	7,455	7,420	7,384	7,393	7,410

- ・浦添市全体の通学児童数は減少傾向にある。



◆校区毎の推計結果

1. 当山小学校の推計結果【通学率※96.63%（H29年）通学児童数 1091人/校区内児童数 1129人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	1,113	1,101	1,096	1,089	1,100	1,092	1,084	1,049	1,028	994	960	925	910	897	885	877	867	860	848	841
通学児童数	1,076	1,064	1,059	1,052	1,063	1,056	1,048	1,015	995	962	929	895	880	867	855	847	837	830	818	811

- ・通学児童数は減少傾向にあり、平成49(2037)年までに265人の減少が見込まれる。

2. 前田小学校の推計結果【通学率※84.62%（H29年）通学児童数 506人/校区内児童数 598人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	613	636	691	766	837	918	955	989	1,042	1,079	1,103	1,098	1,076	1,049	1,015	977	939	900	869	840
通学児童数	519	538	585	648	709	777	807	838	881	913	934	929	910	886	858	826	794	761	734	710

- ・てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業と浦添南第一土地区画整理事業による影響で平成40(2028)年頃に通学児童数がピークになり、その後減少傾向に移行すると見込まれる。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

3. 牧港小学校の推計結果【通学率[※]95.16% (H29年)通学児童数 472人/校区内児童数 496人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	513	519	503	491	484	470	460	445	458	460	469	488	488	489	490	492	495	497	497	494
通学児童数	489	494	479	467	461	448	438	424	436	438	446	464	464	465	466	468	471	473	473	470

・平成 37(2025)年頃まで通学児童数が減少傾向にあるが、その後増加傾向に移行するため現在の通学児童数の規模を維持すると見込まれる。

4. 浦添小学校の推計結果【通学率[※]103.47% (H29年)通学児童数 626人/校区内児童数 605人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	619	609	598	589	571	554	531	513	502	495	494	489	483	479	477	475	475	476	478	479
通学児童数	641	631	619	610	592	574	550	531	520	513	512	507	501	497	495	493	493	494	496	497

・通学児童数は減少傾向にあり、平成 49(2037)年までに 144 人の減少が見込まれる。

5. 沢岬小学校の推計結果【通学率[※]88.87% (H29年)通学児童数 703人/校区内児童数 791人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	832	869	907	950	980	1,016	1,030	1,028	1,041	1,036	1,037	1,028	1,030	1,033	1,037	1,041	1,045	1,047	1,048	1,051
通学児童数	740	772	805	845	871	902	916	914	925	922	921	913	916	919	923	925	929	931	931	934

・浦添南第一土地区画整理事業と浦添南第二土地区画整理事業による影響で通学児童数が増加し続け、推計期間以降も増加傾向が継続する見込みである。

6. 宮城小学校の推計結果【通学率[※]102.93% (H29年)通学児童数 808人/校区内児童数 785人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	797	780	738	704	674	673	656	653	637	632	620	608	600	592	585	580	579	578	575	572
通学児童数	821	803	760	724	693	692	674	671	655	650	638	626	618	610	603	598	597	596	593	590

通学児童数は減少傾向にあり、平成 49(2037)年までに 231 人の減少が見込まれる。

7. 仲西小学校の推計結果【通学率[※]87.99% (H29年)通学児童数 630人/校区内児童数 716人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	737	718	711	673	667	645	651	666	693	726	740	764	760	756	750	743	737	729	734	736
通学児童数	649	632	626	592	587	568	573	587	611	641	653	674	670	666	660	653	649	642	646	647

平成 37(2025)年頃まで通学児童数が減少傾向にあるが、その後増加傾向に移行し、現在の通学児童数を維持すると見込まれる。また、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加することが見込まれる。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。

※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

8. 内間小学校の推計結果【通学率[※]99.83% (H29年)通学児童数 577人/校区内児童数 578人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	582	562	562	564	546	547	539	542	537	536	538	542	543	543	543	544	546	547	544	540
通学児童数	582	562	562	564	546	547	539	542	537	536	538	542	543	543	543	544	546	547	544	540

通学児童数は減少傾向にあり、平成 49(2037)年までに 42 人の減少が見込まれる。

9. 神森小学校の推計結果【通学率[※]110.91% (H29年)通学児童数 661人/校区内児童数 596人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	610	617	610	593	561	547	527	506	500	500	507	509	503	500	499	499	500	500	515	529
通学児童数	676	684	677	658	622	607	585	561	554	554	562	564	557	554	553	553	554	554	569	587

通学児童数は減少傾向にあり、平成 49(2037)年までに 89 人の減少が見込まれるが、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加することが見込まれる。

10. 浦城小学校の推計結果【通学率[※]105.40% (H29年)通学児童数 1034人/校区内児童数 981人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	989	977	948	920	907	879	869	857	856	848	849	863	856	852	850	847	845	844	856	869
通学児童数	1,042	1,029	999	970	957	927	916	904	903	894	896	911	904	900	898	895	893	892	904	917

通学児童数は減少傾向にあり、平成 49(2037)年までに 125 人の減少が見込まれるが、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加することが見込まれる。

11. 港川小学校の推計結果【通学率[※]90.97% (H29年)通学児童数 917人/校区内児童数 1008人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	1,013	990	981	921	871	821	793	769	747	738	730	731	724	720	719	719	723	730	753	777
通学児童数	922	901	892	838	792	746	720	699	679	671	664	665	658	654	653	653	657	664	685	707

通学児童数は減少傾向にあり、平成 49(2037)年までに 125 人の減少が見込まれるが、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加することが見込まれる。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。

※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

(3) 牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響

牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による人口転入は、牧港補給地区内に小学校区がないため隣接する小学校区(仲西小学校区・神森小学校区・浦城小学校区・港川小学校区)に等分配している。

人口転入は、平成 48(2036)年～平成 72(2060)年の 25 年間で、各校区に約 300 人の児童数の転入が見込まれる。そのため、仲西小学校・神森小学校・浦城小学校・港川小学校は将来的に現在以上の学校規模になることが想定される。

(4) 適正規模を維持できる通学児童数の算出(目安)

小学校の適正規模を維持できる通学児童数の目安を確認する。

文部科学省で定められている適正規模の学級数は 12～18 学級である。そこで、適正規模を維持できる通学児童数の範囲の目安を算出し(表 3.4 参照)、通学児童数の推移と比較する。目安を算出する際の学級編成は、少人数学級編成(沖縄県)を採用する。

このとき、適正規模を維持できる通学児童数の目安は、400 人～600 人となる。

表 3.4 適正規模を維持できる通学児童数の算出(目安)

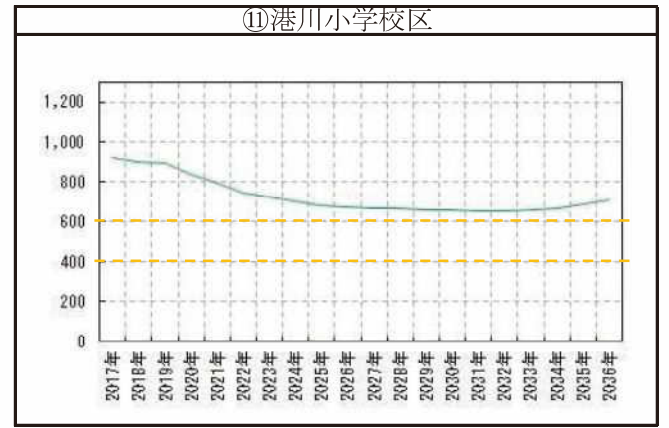
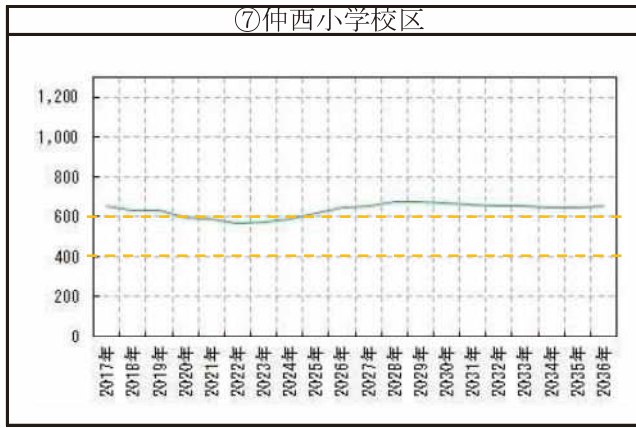
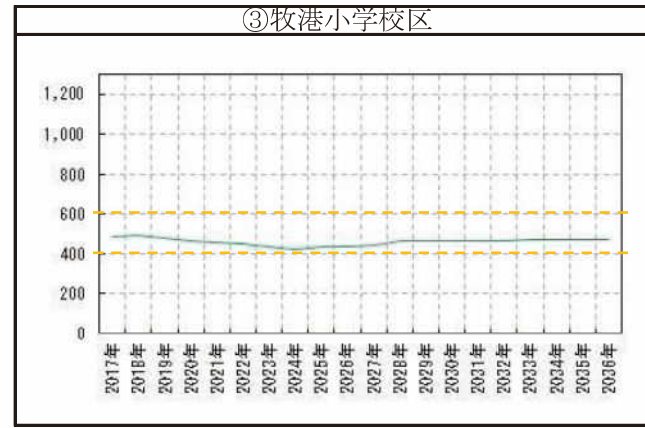
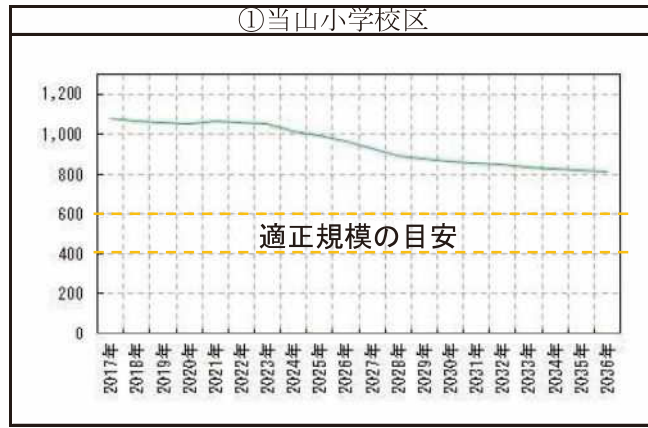
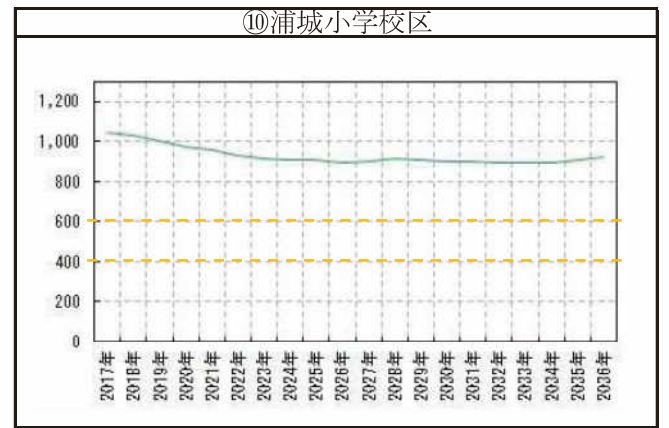
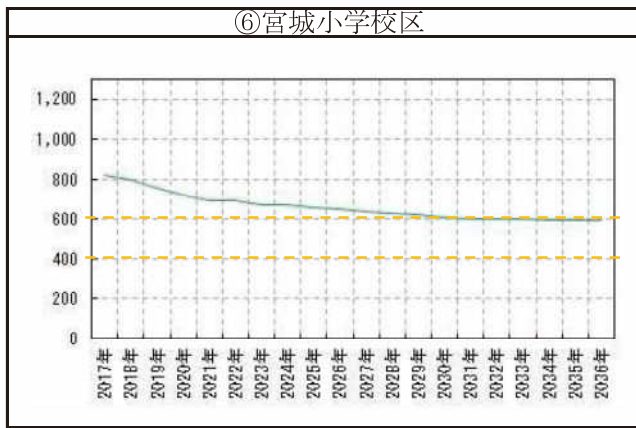
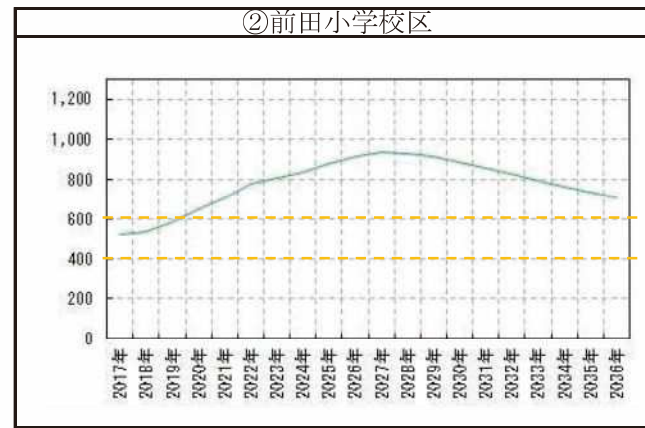
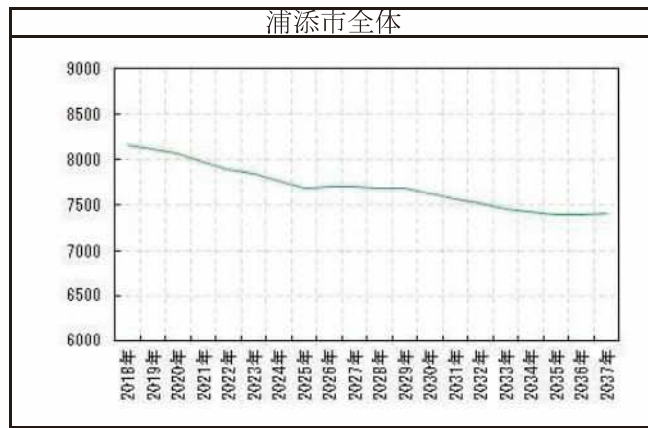
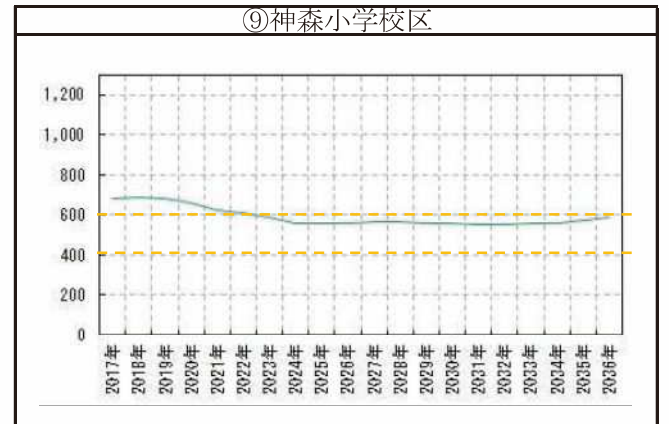
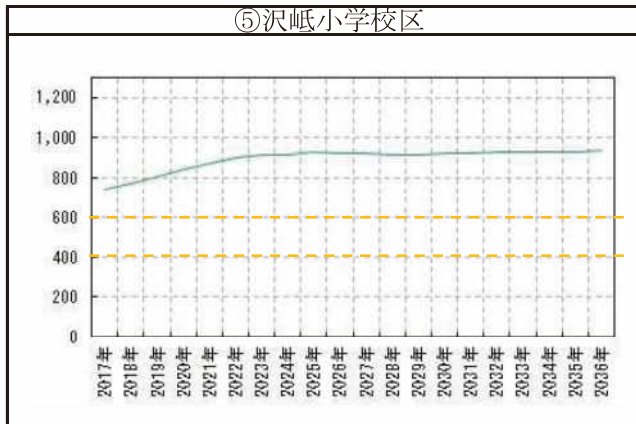
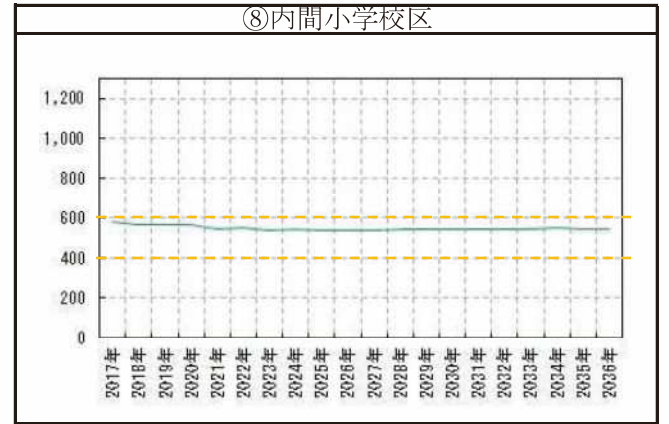
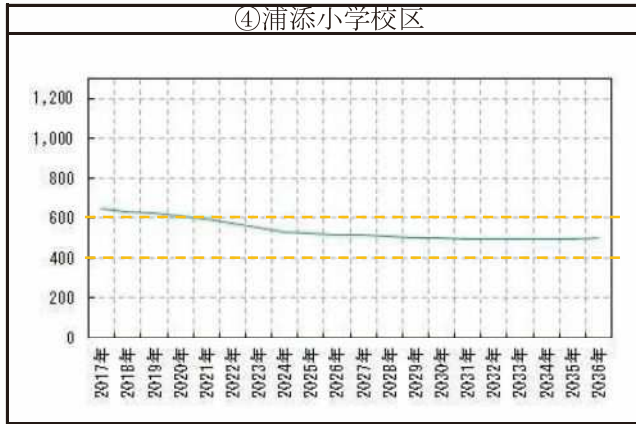
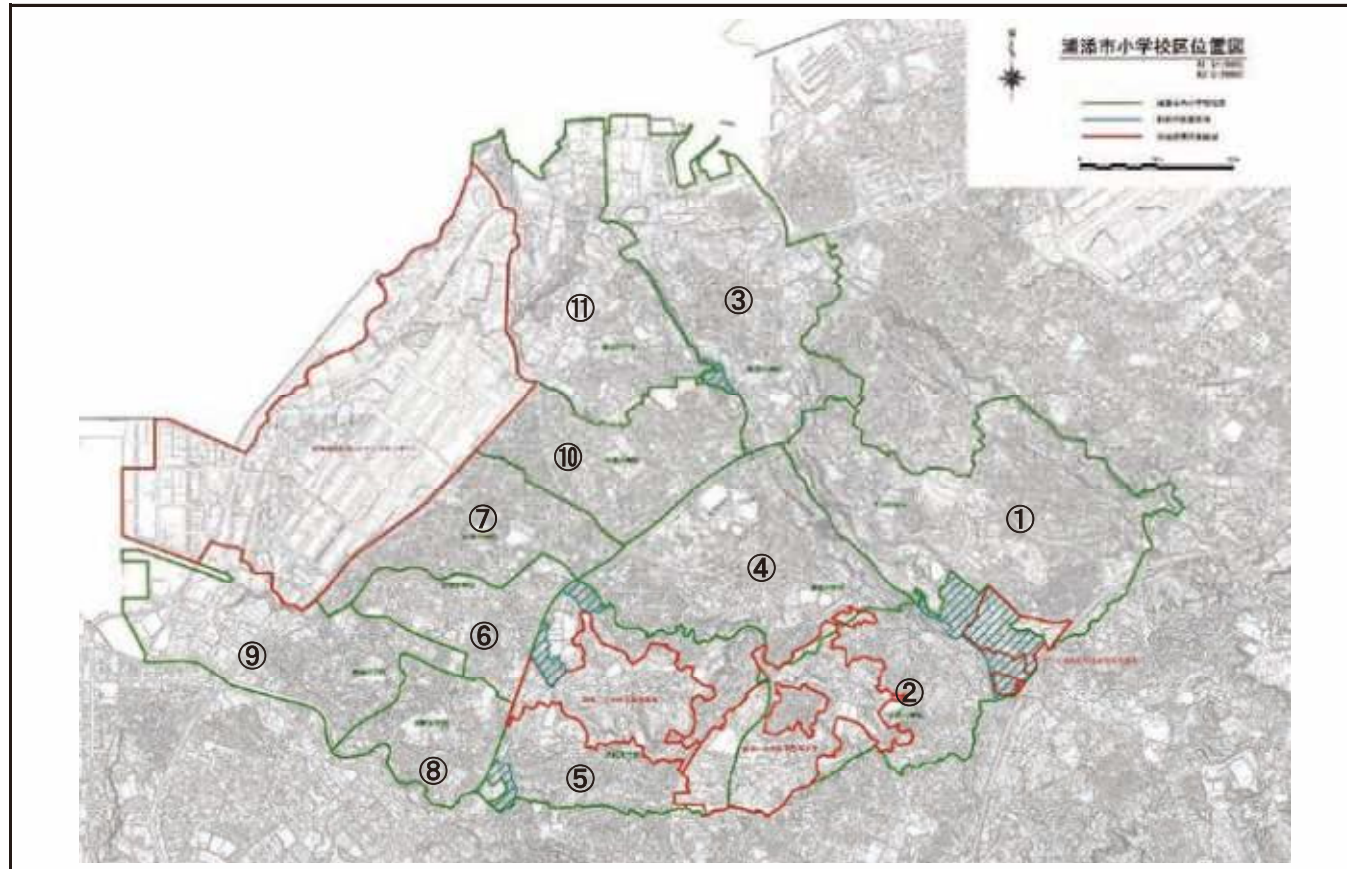
学年	学級数	通学児童数の下限 (学級数×学級編成)	通学児童数の上限 (学級数×学級編成)
1 学年	2～3 学級	2(学級)×30(人)=60 人	3(学級)×30(人)=90 人
2 学年	2～3 学級	2(学級)×30(人)=60 人	3(学級)×30(人)=90 人
3 学年	2～3 学級	2(学級)×35(人)=70 人	3(学級)×35(人)=105 人
4 学年	2～3 学級	2(学級)×35(人)=70 人	3(学級)×35(人)=105 人
5 学年	2～3 学級	2(学級)×35(人)=70 人	3(学級)×35(人)=105 人
6 学年	2～3 学級	2(学級)×35(人)=70 人	3(学級)×35(人)=105 人
小学校合計	12～18 学級	12 学級・400 人	18 学級・600 人

※適正規模の目安となる通学児童数算出のため、特別支援児童数は考慮していない

表 3.5 少人数学級編成(沖縄県)

少人数学級編成(沖縄県)	
1 学年	30 人学級
2 学年	30 人学級
3 学年	35 人学級
4 学年	35 人学級
5 学年	35 人学級
6 学年	35 人学級

小学校別の通学児童数推移(6～11歳)



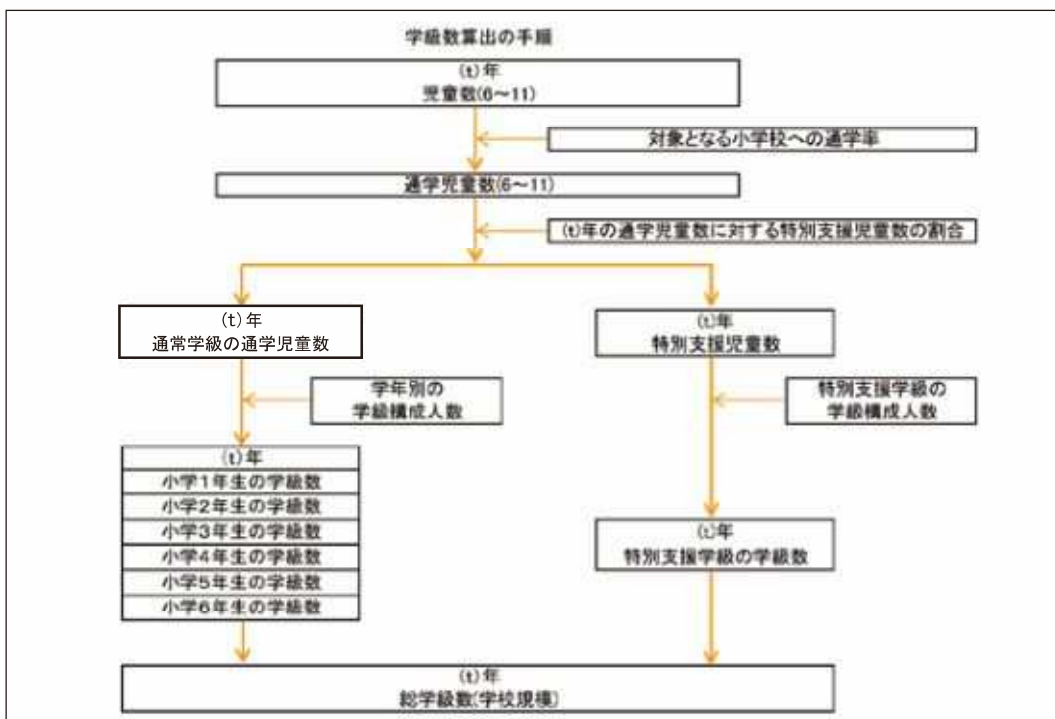
3-3-2 学級数算出の設定について

◆学級数算出のフロー図

対象となる小学校の学級数算出については、小学校区内の児童(6歳～11歳)が全て対象小学校へ通学するとは限らないため、対象小学校への通学率を考慮した通学児童数を算出する。

次に、通学児童数における通常学級の通学児童数と特別支援児童数を算出することで、対象となる小学校の学級数を算出する。

図 3.5 学級数算出のフロー図



◆特別支援児童数の設定

特別支援児童数を算出するにあたり、通学児童総数(6歳～11歳)より算出する。

その場合に、通学児童総数に対する特別支援児童数の「割合」及び「変化率」を考慮する。特別支援児童数の割合は、平成25年の法改正により現在まで増加率が高くなっているが、将来的に増加する率は鈍化していくと想定される。そのため、変化率を直近3年の平均を用いて、11小学校それぞれの値を設定する。

3-3-3 学級数の推計結果

小学校の学校規模は、学級数によって判断される(表 3.6 参照)。学級編成には、沖縄県が独自に設定している少人数学級編成(沖縄県)と国公立義務教育学校学級編成(国)があり、本推計ではそれぞれの学級編成についての学校規模を推計する。

表 3.6 学校規模の分類

学校規模	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
学級数	5 以下	6～11	12～18	19～30	31 以上

出典：公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き(文部科学省)

(1) 1. 少人数学級編成(沖縄県)とした場合の学級数

表 3.7 学級編成

少人数学級編成(沖縄県)	国公立義務教育学校学級編成(国)
1 学年 30 人学級	小学校 1 年生 35 人学級
2 学年 30 人学級	小学校 2～6 学年 40 人学級
3 学年 35 人学級	
4 学年 35 人学級	
5 学年 35 人学級	
6 学年 35 人学級	
特別支援学級	特別支援学級
支援種別(7 種)数毎で最大 8 人編成 平均 編成人数(5.51 人/1 クラス)	支援種別(7 種)数毎で最大 8 人編成 平均 編成人数(5.51 人/1 クラス)

出典：沖縄県少人数学級編成に係る研究指定校実施要領より作成

※沖縄県内では、教育環境向上のため主に少人数学級編成(沖縄県)を採用している

(1) 2. 特別支援学級数の算出方法

平成 23 年 7 月の障害者基本法第 16 条^{※1}の改正及び平成 25 年 8 月の学校教育法施行令の一部改正以降、浦添市においても、障がい者である児童及び生徒と障がい者でない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進め、相互理解の促進、教育環境の充実を図る等、特別教育支援体制に取り組んできたことから、各学校において平成 27 年以降、特別支援児童数及び学級数が増加している。

特別支援学級は、特別支援種別(7 種)毎に最大 8 人編成とされているが、将来学級数推計においては、この改正令による反映を踏まえ、小学校毎の過去 5 年間の平均編成人数(支援児童数/学級数)を求め、全小学校のその値の平均を、編成人数(5.51 人/1 クラス)とした。

※1 障害者基本法第 16 条 国及び地方公共団体は、障害者が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育が受けられるようにするため、可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等必要な施策を講じなければならない。

◆浦添市全体の推計結果

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	8,418	8,378	8,345	8,260	8,198	8,162	8,095	8,017	8,041	8,044	8,047	8,045	7,973	7,910	7,850	7,794	7,751	7,708	7,717	7,728
通学 ※2 児童数	8,157	8,110	8,063	7,968	7,893	7,844	7,766	7,686	7,696	7,694	7,693	7,690	7,621	7,561	7,507	7,455	7,420	7,384	7,393	7,410
特別支援児童数	322	342	344	352	355	358	360	357	358	358	360	361	359	358	355	351	349	346	345	350
通常学級数	266	266	264	255	254	255	254	252	252	253	257	259	259	256	252	249	245	245	248	251
特別支援学級	51	57	57	59	60	60	61	59	60	61	61	61	61	60	60	59	58	57	57	59
学級総数	317	323	321	314	314	315	315	311	312	314	318	320	320	316	312	308	303	302	305	310

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 7 学級減少する。
- ・通学児童数の減少に対して総学級数の減少が少ないのは、将来的に特別支援児童数の増加が想定され、通学児童数に対する特別支援学級数の割合が多くなるためである。

1. 当山小学校の推計結果【通学率※196.63% (H29年)通学児童数 1091 人/校区内児童数 1129 人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	1,113	1,101	1,096	1,089	1,100	1,092	1,084	1,049	1,028	994	960	925	910	897	885	877	867	860	848	841
通学 ※2 児童数	1,076	1,064	1,059	1,052	1,063	1,056	1,048	1,015	995	962	929	895	880	867	855	847	837	830	818	811
特別支援児童数	33	38	39	39	41	41	41	40	39	38	37	36	36	35	34	34	32	30	30	30
通常学級数	34	35	34	33	33	33	32	31	31	30	30	30	29	28	26	26	26	26	26	26
特別支援学級	5	6	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
学級総数	39	41	41	40	40	40	39	38	38	36	36	36	35	34	32	32	31	31	31	31

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 8 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあるが、推計期間中に 31 学級を下回らないため 20 年間過大規模で推移する見込みである。

2. 前田小学校の推計結果【通学率※184.62% (H29年)通学児童数 506 人/校区内児童数 598 人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	613	636	691	766	837	918	955	989	1,042	1,079	1,103	1,098	1,076	1,049	1,015	977	939	900	869	840
通学 ※2 児童数	519	538	585	648	709	777	807	838	881	913	934	929	910	886	858	826	794	761	734	710
特別支援児童数	22	24	27	30	34	37	41	41	43	45	47	46	45	44	42	40	39	38	37	36
通常学級数	18	19	19	21	22	26	26	26	26	28	31	30	30	29	28	27	24	24	24	24
特別支援学級	3	4	4	5	6	6	7	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6
学級総数	21	23	23	26	28	32	33	33	33	36	39	38	38	36	35	34	31	30	30	30

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 9 学級増加する。
- ・てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業と浦添南第一土地区画整理事業による影響で平成 40(2028)年頃に通学児童数がピークになり 39 学級となる。平成 35(2034)年より過大規模校となり、約 11 年間続くと推計される。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

3. 牧港小学校の推計結果【通学率※195.16% (H29年)通学児童数472人/校区内児童数496人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	513	519	503	491	484	470	460	445	458	460	469	488	488	489	490	492	495	497	497	494
通学 ※2児童数	489	494	479	467	461	448	438	424	436	438	446	464	464	465	466	468	471	473	473	470
特別支援児童数	27	30	29	29	30	29	28	27	28	28	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30
通常学級数	18	16	16	16	16	15	14	14	15	16	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
特別支援学級	4	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
学級総数	22	21	21	21	21	20	19	18	20	21	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23

- ・平成49(2037)年の学級総数は、平成30(2018)年より1学級増加する見込みである。
- ・平成37(2025)年頃まで通学児童数が減少傾向にあるが、その後、現在の学級数に回復し、学級規模については特に大きな変動もなく20年間大規模で推移する見込みである。

4. 浦添小学校の推計結果【通学率※1103.47% (H29年)通学児童数626人/校区内児童数605人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	619	609	598	589	571	554	531	513	502	495	494	489	483	479	477	475	475	476	478	479
通学 ※2児童数	641	631	619	610	592	574	550	531	520	513	512	507	501	497	495	493	493	494	496	497
特別支援児童数	26	29	27	28	28	26	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
通常学級数	21	20	21	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
特別支援学級	4	5	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級総数	25	25	25	24	24	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

- ・平成49(2037)年の学級総数は、平成30(2018)年から3学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあり、学校規模については、20年間大規模で推移する見込みである。

5. 沢岬小学校の推計結果【通学率※188.87% (H29年)通学児童数703人/校区内児童数791人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	832	869	907	950	980	1,016	1,030	1,028	1,041	1,036	1,037	1,028	1,030	1,033	1,037	1,041	1,045	1,047	1,048	1,051
通学 ※2児童数	740	772	805	845	871	902	916	914	925	922	921	913	916	919	923	925	929	931	931	934
特別支援児童数	47	52	56	61	63	67	68	69	69	68	68	68	68	69	70	69	70	71	70	72
通常学級数	24	26	26	26	27	28	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30
特別支援学級	8	9	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13
学級総数	32	35	36	37	38	40	41	41	41	41	41	41	42	42	42	42	42	42	42	43

- ・平成49(2037)年の学級総数は、平成30(2018)年から11学級増加する。
- ・浦添南第一土地区画整理事業と浦添南第二土地区画整理事業による影響で通学児童数が増加し続け、推計期間以降も過大規模で推移する見込みである。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

6. 宮城小学校の推計結果【通学率※1102.93% (H29年)通学児童数 808 人/校区内児童数 785 人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	797	780	738	704	674	673	656	653	637	632	620	608	600	592	585	580	579	578	575	572
通学 ※2児童数	821	803	760	724	693	692	674	671	655	650	638	626	618	610	603	598	597	596	593	590
特別支援児童数	27	28	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	22	22	21	20	20
通常学級数	26	26	24	24	24	23	23	23	22	22	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20
特別支援学級	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3
学級総数	30	31	28	28	28	27	27	27	26	26	25	24	24	24	24	23	23	23	23	23

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 7 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあり、学校規模は大規模の範囲で推移する見込みである。

7. 仲西小学校の推計結果【通学率※187.99% (H29年)通学児童数 630 人/校区内児童数 716 人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	737	718	711	673	667	645	651	666	693	726	740	764	760	756	750	743	737	729	734	736
通学 ※2児童数	649	632	626	592	587	568	573	587	611	641	653	674	670	666	660	653	649	642	646	647
特別支援児童数	23	23	23	22	22	21	21	21	22	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24
通常学級数	22	22	21	18	19	19	19	20	21	22	23	24	24	24	24	23	22	21	22	21
特別支援学級	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級総数	26	26	25	21	22	22	22	23	24	26	27	28	28	28	28	27	26	25	26	25

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 1 学級減少する。
- ・平成 37(2025)年頃まで通学児童数が減少傾向にあるものの、その後徐々に現在の規模に回復する。また、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加する見込みである。

8. 内間小学校の推計結果【通学率※199.83% (H29年)通学児童数 577 人/校区内児童数 578 人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	582	562	562	564	546	547	539	542	537	536	538	542	543	543	543	544	546	547	544	540
通学 ※2児童数	581	562	562	564	546	547	539	542	537	536	538	542	543	543	543	544	546	547	544	540
特別支援児童数	30	27	27	31	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
通常学級数	19	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
特別支援学級	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
学級総数	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 1 学級減少する。
- ・通学児童数は若干減少傾向にあるものの、20 年間大規模で推移する見込みである。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

9. 神森小学校の推計結果【通学率※1110.91% (H29年)通学児童数 661人/校区内児童数 596人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	610	617	610	593	561	547	527	506	500	500	507	509	503	500	499	499	500	500	515	529
通学 ※2 児童数	676	684	677	658	622	607	585	561	554	554	562	564	557	554	553	553	554	554	569	587
特別支援児童数	44	45	45	44	42	41	40	38	37	37	37	37	36	36	36	36	36	36	38	42
通常学級数	21	21	22	22	20	20	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	20
特別支援学級	7	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7
学級総数	28	29	30	29	27	27	27	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	27

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 1 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあるものの今後も大規模の状況が見込まれる。
- ・平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加することが見込まれる。

10. 浦城小学校の推計結果【通学率※1105.40% (H29年)通学児童数 1034人/校区内児童数 981人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	989	977	948	920	907	879	869	857	856	848	849	863	856	852	850	847	845	844	856	869
通学 ※2 児童数	1,042	1,029	999	970	957	927	916	904	903	894	896	911	904	900	898	895	893	892	904	917
特別支援児童数	24	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
通常学級数	34	33	33	31	31	30	31	31	31	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30	31
特別支援学級	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級総数	38	37	37	35	35	34	35	35	35	33	33	34	34	34	34	34	34	34	34	35

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 3 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあるものの今後も過大規模の状況が見込まれる。
- ・平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加することが見込まれる。

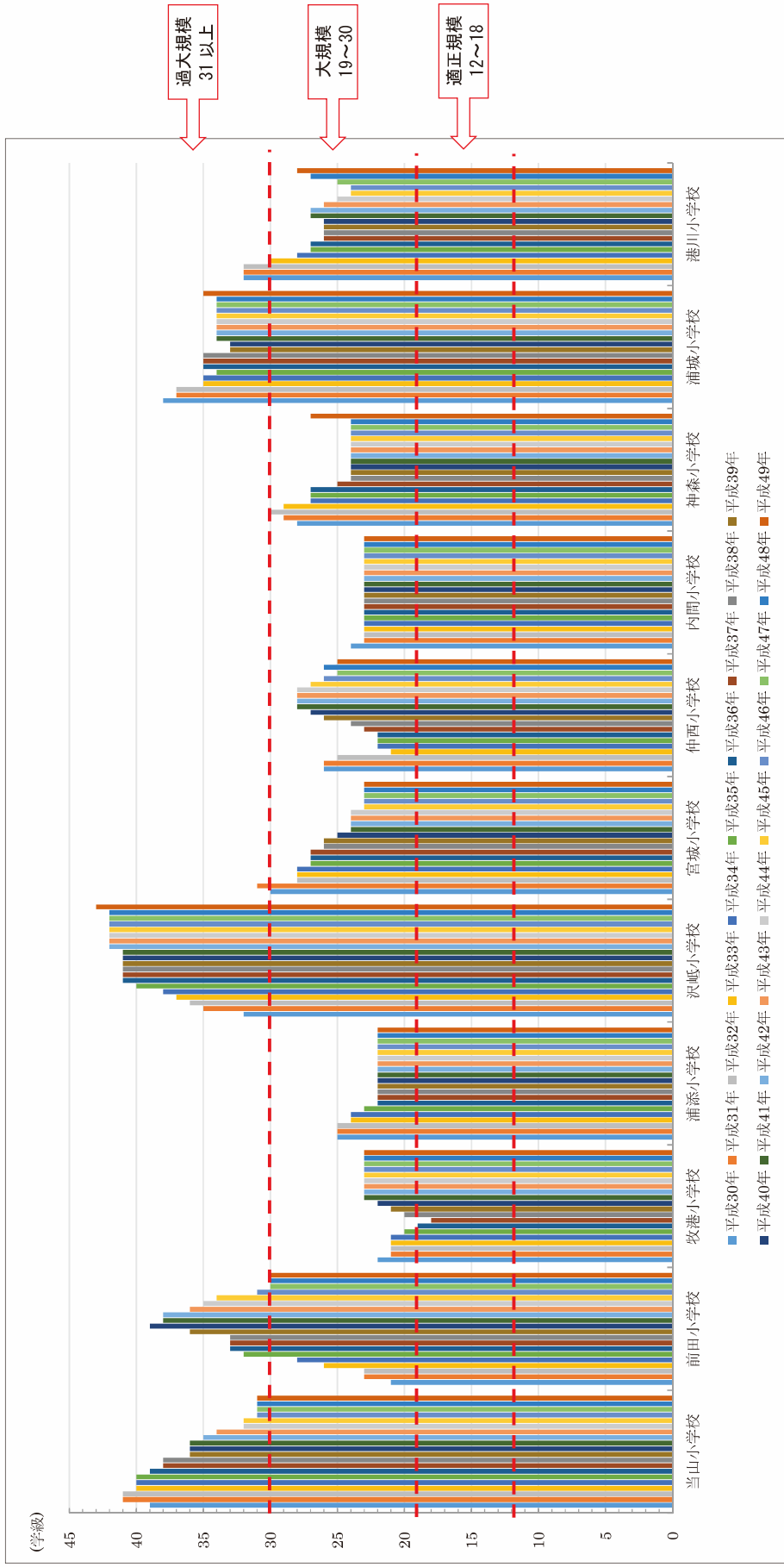
11. 港川小学校の推計結果【通学率※190.97% (H29年)通学児童数 917人/校区内児童数 1008人】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	1,013	990	981	921	871	821	793	769	747	738	730	731	724	720	719	719	723	730	753	777
通学 ※2 児童数	922	901	892	838	792	746	720	699	679	671	664	665	658	654	653	653	657	664	685	707
特別支援児童数	19	20	20	19	18	18	17	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
通常学級数	29	29	29	27	25	24	24	23	23	23	23	24	24	23	22	21	21	22	24	25
特別支援学級	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
学級総数	32	32	32	30	28	27	27	26	26	26	26	27	27	26	25	24	24	25	27	28

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 4 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあり平成 33(2021)年頃以降、大規模へと移行する。平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数が増加することが見込まれる。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

図 3.6 学級数の推移一覧(少人数学級編成(沖縄県))



- 当山小学校、沢岬小学校、浦城小学校は 20 年過大規模校で推移する見込みである。
- 前田小学校は、平成 34 (2022) 年頃から過大規模校へ移行する見込みである

(2) 1. 国公立義務教育学校学級編成(国)とした場合の学級数

表 3.8 学級編成

少人数学級編成(沖縄県)	国公立義務教育学校学級編成(国)
1 学年 30 人学級	小学校 1 年生 35 人学級 小学校 2～6 学年 40 人学級
2 学年 30 人学級	
3 学年 35 人学級	
4 学年 35 人学級	
5 学年 35 人学級	
6 学年 35 人学級	

特別支援学級	特別支援学級
支援種別(7 種)数毎で最大 8 人編成 平均 編成人数(5.51 人/1 クラス)	支援種別(7 種)数毎で最大 8 人編成 平均 編成人数(5.51 人/1 クラス)

出典：沖縄県少人数学級編成に係る研究指定校実施要領より作成

※沖縄県内では、教育環境向上のため主に少人数学級編成（沖縄県）を採用している

(2) 2 . 特別支援学級数の算出方法

平成 23 年 7 月の障害者基本法第 16 条^{※1}の改正及び平成 25 年 8 月の学校教育法施行令の一部改正以降、浦添市においても、障がい者である児童及び生徒と障がい者でない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進め、相互理解の促進、教育環境の充実を図る等、特別教育支援体制に取り組んできたことから、各学校において平成 27 年以降、特別支援児童数及び学級数が増加している。

特別支援学級は、特別支援種別(7 種)毎に最大 8 人編成とされているが、将来学級数推計においては、この改正令による反映を踏まえ、小学校毎の過去 5 年間の平均編成人数(支援児童数/学級数)を求め、全小学校のその値の平均を、編成人数(5.51 人/1 クラス)とした。

表 3.9 校区毎の平均編成人数 (H26～H29 年の 5 年平均) と市全体の平均編成人数

	当山	前田	牧港	浦添	沢岬	宮城	仲西	内間	神森	浦城	港川
5 年平均値	5.93	4.23	5.19	4.88	5.00	5.98	6.20	6.45	6.25	5.65	4.87
市全体	5.51										

※1 障害者基本法第 16 条 国及び地方公共団体は、障害者が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育が受けられるようにするため、可能な限り障害者である児童及び生徒が障害者でない児童及び生徒と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等必要な施策を講じなければならない。

◆浦添市全体の推計結果【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	8,418	8,378	8,345	8,260	8,198	8,162	8,095	8,017	8,041	8,044	8,047	8,045	7,973	7,910	7,850	7,794	7,751	7,708	7,717	7,728
通学※2児童数	8,157	8,110	8,063	7,968	7,893	7,844	7,766	7,686	7,696	7,694	7,693	7,690	7,621	7,561	7,507	7,455	7,420	7,384	7,393	7,410
特別支援児童数	322	342	344	352	355	358	360	357	358	358	360	361	359	358	355	351	349	346	345	350
通常学級数	228	231	230	231	226	227	227	223	222	221	221	218	216	215	214	215	214	213	212	211
特別支援学級	51	57	57	59	60	60	61	59	60	61	61	61	61	60	60	59	58	57	57	59
学級総数	279	288	287	290	286	287	288	282	282	282	282	279	277	275	274	274	272	270	269	270

- ・平成 49 (2037) 年の学級総数は、平成 30 (2018) から 9 学級減少する。
- ・通学児童数の減少に対して総学級数の減少が少ないのは、将来的に特別支援児童数の増加が想定され、通学児童数に対する特別支援学級数の割合が多くなるためである。

1. 当山小学校の推計結果【通学率※196.63% (H29年)通学児童数 1091 人/校区内児童数 1129 人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	1,113	1,101	1,096	1,089	1,100	1,092	1,084	1,049	1,028	994	960	925	910	897	885	877	867	860	848	841
通学※2児童数	1,076	1,064	1,059	1,052	1,063	1,056	1,048	1,015	995	962	929	895	880	867	855	847	837	830	818	811
特別支援児童数	33	38	39	39	41	41	41	40	39	38	37	36	36	35	34	34	32	30	30	30
通常学級数	29	30	29	30	29	29	30	29	28	27	26	24	24	24	24	24	24	24	24	24
特別支援学級	5	6	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5
学級総数	34	36	36	37	36	36	37	36	35	33	32	30	30	30	30	30	29	29	29	29

- ・平成 49 (2037) 年の学級総数は、平成 30 (2018) から 5 学級減少する。
- ・児童数は減少傾向にあり、平成 41 (2029) 年頃に大規模校へ移行する見込みである。

2. 前田小学校の推計結果【通学率※184.62% (H29年)通学児童数 506 人/校区内児童数 598 人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	613	636	691	766	837	918	955	989	1,042	1,079	1,103	1,098	1,076	1,049	1,015	977	939	900	869	840
通学※2児童数	519	538	585	648	709	777	807	838	881	913	934	929	910	886	858	826	794	761	734	710
特別支援児童数	22	24	27	30	34	37	41	41	43	45	47	46	45	44	42	40	39	38	37	36
通常学級数	15	17	18	19	19	22	23	24	25	25	25	25	24	24	24	24	23	22	21	20
特別支援学級	3	4	4	5	6	6	7	7	7	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6
学級総数	18	21	22	24	25	28	30	31	32	33	33	33	32	31	31	31	30	28	27	26

- ・平成 49 (2037) 年の学級総数は、平成 30 (2018) から 8 学級増加する。
- ・てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業と浦添南第一土地区画整理事業による影響で平成 40 (2028) 年頃に通学児童数がピークになり 33 学級となる。その後は、平成 45 (2037) 年頃に大規模へ推移する見込みである。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。

※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

3. 牧港小学校の推計結果【通学率※195.16% (H29年)通学児童数472人/校区内児童数496人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	513	519	503	491	484	470	460	445	458	460	469	488	488	489	490	492	495	497	497	494
通学 ※2児童数	489	494	479	467	461	448	438	424	436	438	446	464	464	465	466	468	471	473	473	470
特別支援児童数	27	30	29	29	30	29	28	27	28	28	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30
通常学級数	15	15	15	15	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
特別支援学級	4	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
学級総数	19	20	20	20	19	19	19	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

- ・平成49(2037)年の学級総数は、平成30(2018)と1学級減少する。
- ・平成37(2025)年頃まで通学児童数が減少傾向にあるが、その後徐々に現在の学校規模に回復する。平成36(2024)年頃以降は適正規模へ移行する見込みである。

4. 浦添小学校の推計結果【通学率※1103.47% (H29年)通学児童数626人/校区内児童数605人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	619	609	598	589	571	554	531	513	502	495	494	489	483	479	477	475	475	476	478	479
通学 ※2児童数	641	631	619	610	592	574	550	531	520	513	512	507	501	497	495	493	493	494	496	497
特別支援児童数	26	29	27	28	28	26	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
通常学級数	19	18	18	18	18	17	17	17	17	16	16	15	14	13	13	13	13	13	13	13
特別支援学級	4	5	4	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級総数	23	23	22	23	23	21	21	21	21	20	20	19	18	17	17	17	17	17	17	17

- ・平成49(2037)年の学級総数は、平成30(2018)年から6学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあり、平成42(2030)年頃以降は適正規模へ移行する見込みである。

5. 沢岬小学校の推計結果【通学率※188.87% (H29年)通学児童数703人/校区内児童数791人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	832	869	907	950	980	1,016	1,030	1,028	1,041	1,036	1,037	1,028	1,030	1,033	1,037	1,041	1,045	1,047	1,048	1,051
通学 ※2児童数	740	772	805	845	871	902	916	914	925	922	921	913	916	919	923	925	929	931	931	934
特別支援児童数	47	52	56	61	63	67	68	69	69	68	68	68	68	69	70	69	70	71	70	72
通常学級数	19	21	22	25	24	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	25
特別支援学級	8	9	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13
学級総数	27	30	32	36	35	37	36	36	36	36	36	36	36	36	36	37	37	37	37	38

- ・平成49(2037)年の学級総数は、平成30(2018)年から11学級増加する。
- ・浦添南第一土地区画整理事業と浦添南第二土地区画整理事業による影響で通学児童数が増加し続け、推計期間以降も過大規模で推移する見込みである。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

6. 宮城小学校の推計結果【通学率^{※1}102.93% (H29年)通学児童数 808 人/校区内児童数 785 人)】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	797	780	738	704	674	673	656	653	637	632	620	608	600	592	585	580	579	578	575	572
通学 ^{※2} 児童数	821	803	760	724	693	692	674	671	655	650	638	626	618	610	603	598	597	596	593	590
特別支援児童数	27	28	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	22	22	21	20	20
通常学級数	23	23	22	20	20	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
特別支援学級	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3
学級総数	27	28	26	24	24	24	23	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 6 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあり、適正規模へと移行するものの、推計期間は大規模で推移する見込みである。

7. 仲西小学校の推計結果【通学率^{※1}87.99% (H29年)通学児童数 630 人/校区内児童数 716 人)】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	737	718	711	673	667	645	651	666	693	726	740	764	760	756	750	743	737	729	734	736
通学 ^{※2} 児童数	649	632	626	592	587	568	573	587	611	641	653	674	670	666	660	653	649	642	646	647
特別支援児童数	23	23	23	22	22	21	21	21	22	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24
通常学級数	19	18	18	18	17	17	18	18	18	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	18
特別支援学級	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級総数	23	22	22	21	20	20	21	21	21	23	23	23	23	23	22	22	22	22	22	22

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 1 学級減少する。
- ・平成 37(2025)年頃まで通学児童数が減少傾向にあるが、その後徐々に現在の規模に回復する。また、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数の増加が見込まれる。

8. 内間小学校の推計結果【通学率^{※1}99.83% (H29年)通学児童数 577 人/校区内児童数 578 人)】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	582	562	562	564	546	547	539	542	537	536	538	542	543	543	543	544	546	547	544	540
通学 ^{※2} 児童数	582	562	562	564	546	547	539	542	537	536	538	542	543	543	543	544	546	547	544	540
特別支援児童数	30	27	27	31	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
通常学級数	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
特別支援学級	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
学級総数	22	21	21	22	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 1 学級増加する。
- ・通学児童数は微減少傾向にあり、推計期間は大規模で推移する見込みである。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

9. 神森小学校の推計結果【通学率※1110.91% (H29年)通学児童数661人/校区内児童数596人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	610	617	610	593	561	547	527	506	500	500	507	509	503	500	499	499	500	500	515	529
通学 ※2児童数	676	684	677	658	622	607	585	561	554	554	562	564	557	554	553	553	554	554	569	587
特別支援児童数	44	45	45	44	42	41	40	38	37	37	37	37	36	36	36	36	36	36	38	42
通常学級数	19	19	18	18	18	17	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
特別支援学級	7	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7
学級総数	26	27	26	25	25	24	24	23	23	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	25

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 1 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあり適正規模へと移行するものの、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数の増加が見込まれる。

10. 浦城小学校の推計結果【通学率※1105.40% (H29年)通学児童数1034人/校区内児童数981人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	989	977	948	920	907	879	869	857	856	848	849	863	856	852	850	847	845	844	856	869
通学 ※2児童数	1,042	1,029	999	970	957	927	916	904	903	894	896	911	904	900	898	895	893	892	904	917
特別支援児童数	24	26	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
通常学級数	28	28	28	27	27	26	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
特別支援学級	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
学級総数	32	32	32	31	31	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 3 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向にあり平成 35(2030)年頃以降は大規模へ移行する見込みである。しかし、平成 48(2036)年以降、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数の増加が見込まれる。

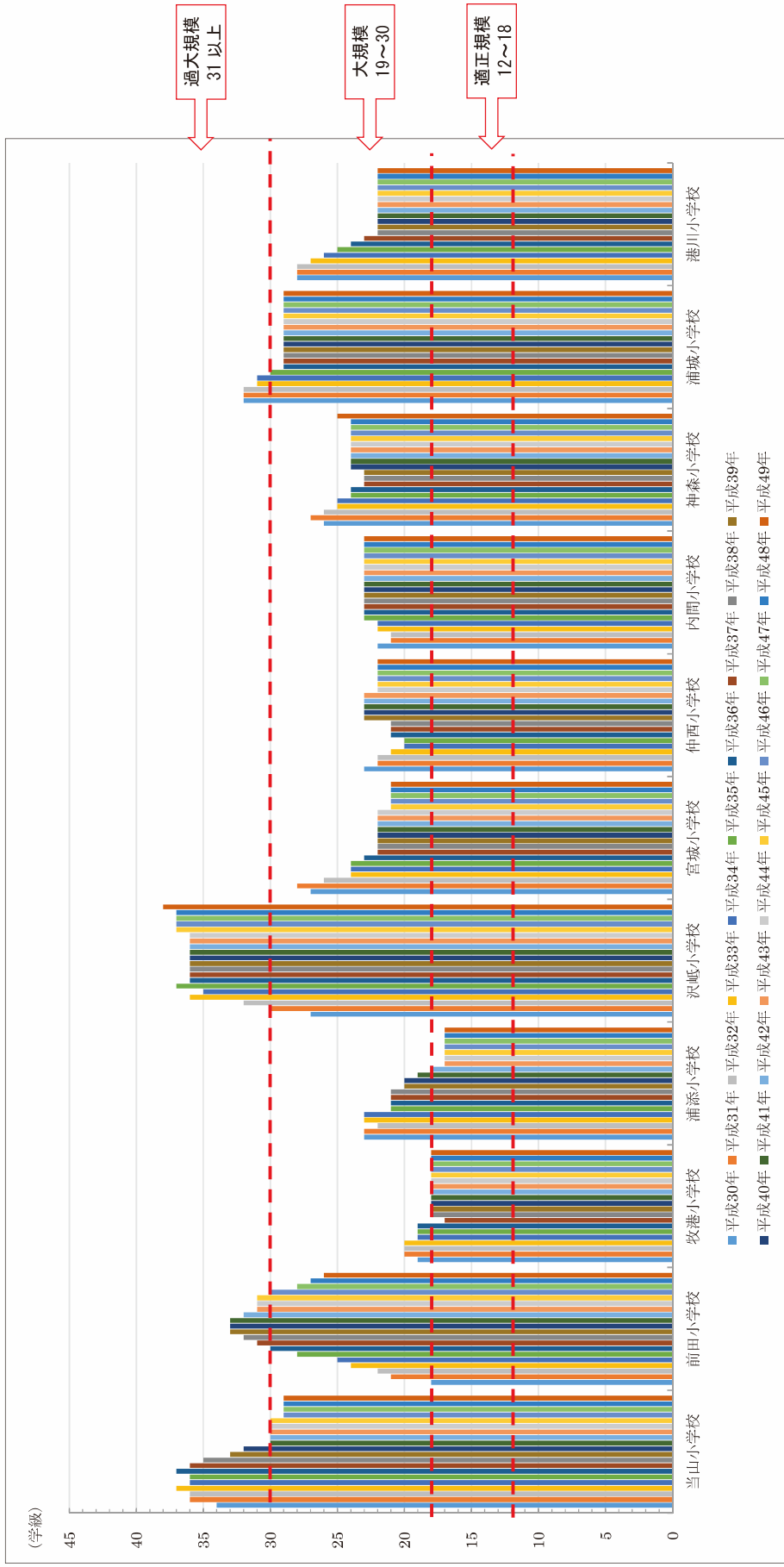
11. 港川小学校の推計結果【通学率※190.97% (H29年)通学児童数917人/校区内児童数1008人】【国】

	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49
校区内児童数	1,013	990	981	921	871	821	793	769	747	738	730	731	724	720	719	719	723	730	753	777
通学 ※2児童数	922	901	892	838	792	746	720	699	679	671	664	665	658	654	653	653	657	664	685	707
特別支援児童数	19	20	20	19	18	18	17	18	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
通常学級数	25	25	25	24	23	22	21	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
特別支援学級	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
学級総数	28	28	28	27	26	25	24	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

- ・平成 49(2037)年の学級総数は、平成 30(2018)年から 6 学級減少する。
- ・通学児童数は減少傾向で、推計期間は大規模の見込みである。平成 48(2036)年以降は、牧港補給地区(キャンプキンザー)の跡地利用による影響で通学児童数の増加が見込まれる。

※1 通学率とは校区内の児童数(6歳～11歳)と通学児童数が異なるため率として算出している。
 ※2 通学児童数は、1～6年生(特別児童支援を受ける児童、受けない児童)全ての児童数となっている。

図 3.7 学級数の推移一覧(国公立義務教育学校学級編成(国))



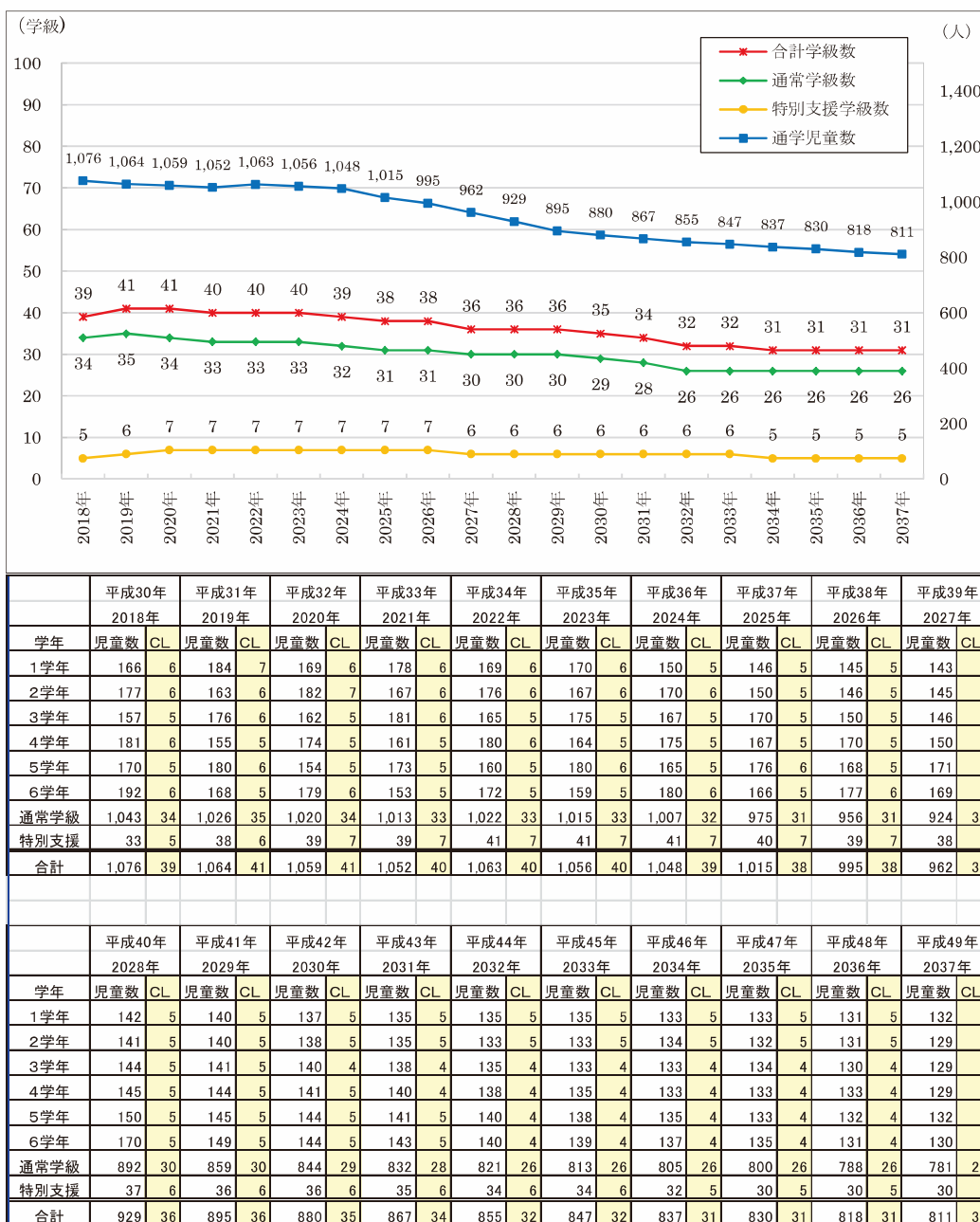
- 当山小学校の通学児童数は減少傾向にあり、平成 41 (2029) 年頃に大規模校へ移行する見込みである。
- 前田小学校と沢岬小学校は、地域整備計画による影響で過大規模校へ移行する。

3-3-4 当山小学校区についての推計

(1) 当山小学校についての推計結果

当山小学校の通学児童数は将来的に減少傾向にあるが、平成 49(2037)年の学級数は 31 学級であり、今後 20 年は過大規模校で推移していくことが見込まれる。

図 3.8 当山小学校の児童数・学級数の推計結果(少人数学級編成(沖縄県))



(2) 分離新設校を想定した校区の設定

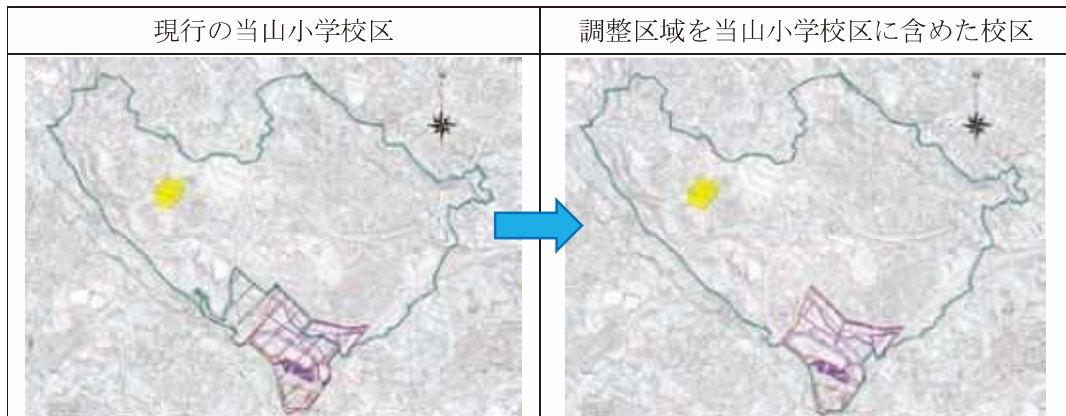
浦添市では、当山小学校の過大規模解消のため分離新設校の方針を決定しており、将来的に分離新設校が開校した場合、当山小学校と分離新設校で通学児童数を分割することになる。

当山小学校の通学児童数は現在よりも減少していくと想定され、分離新設校が開校した場合、当山小学校に通学する児童数が減ることで、当山小学校が保有する教室に多くの空きができる可能性がある。そこで、当山小学校の学校施設を有効利用するために、分離新設校の開校時に前田小学校との調整区域をすべて当山小学校区に含める必要がある。その理由を以下に示す。

◆前田小学校との調整区域を当山小学校区として扱う理由

- 分離新設校の開校を想定した場合、通学児童数を確保し、当山小学校の学校施設の有効利用を図る必要がある。
- 前田小学校は浦添南第一土地区画整理事業やてだこ浦西駅周辺土地区画整理事業による人口増加が想定されたため、学級数が大幅に増加する可能性がある(最大 43 学級)。そのため、てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業による人口増加の影響を軽減させる必要がある。
- てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業は主に、前田小学校との調整区域に位置しているため、人口増加のほとんどが前田小学校へ影響する。(調整区域は基本的に前田小学校へ通学である)
- 調整区域から前田小学校へ通学する際、県道 241 号線を横断しなければならない。さらに、今後大きな道路の整備も進められているため、通学路の安全性を考慮しなければならない。

図 3.9 分離新設校を開校する場合の校区

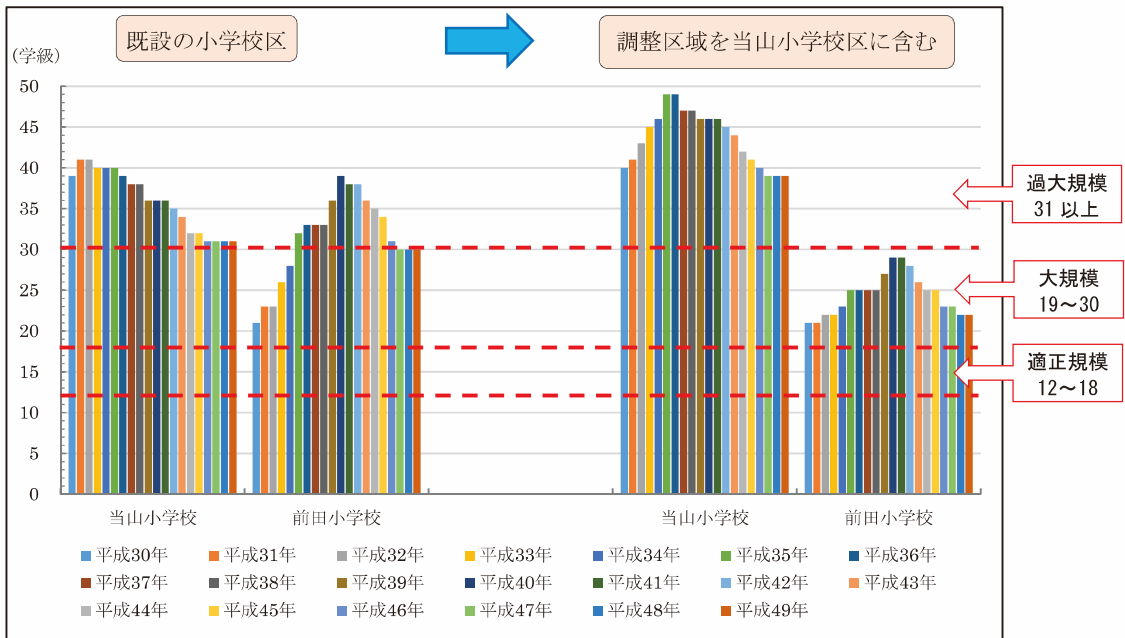


前田小学校との調整区域を当山小学校区に含むことで、てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業による人口増加の影響を分離新設校で吸収することができる。

(3) 校区の設定による学級数への影響

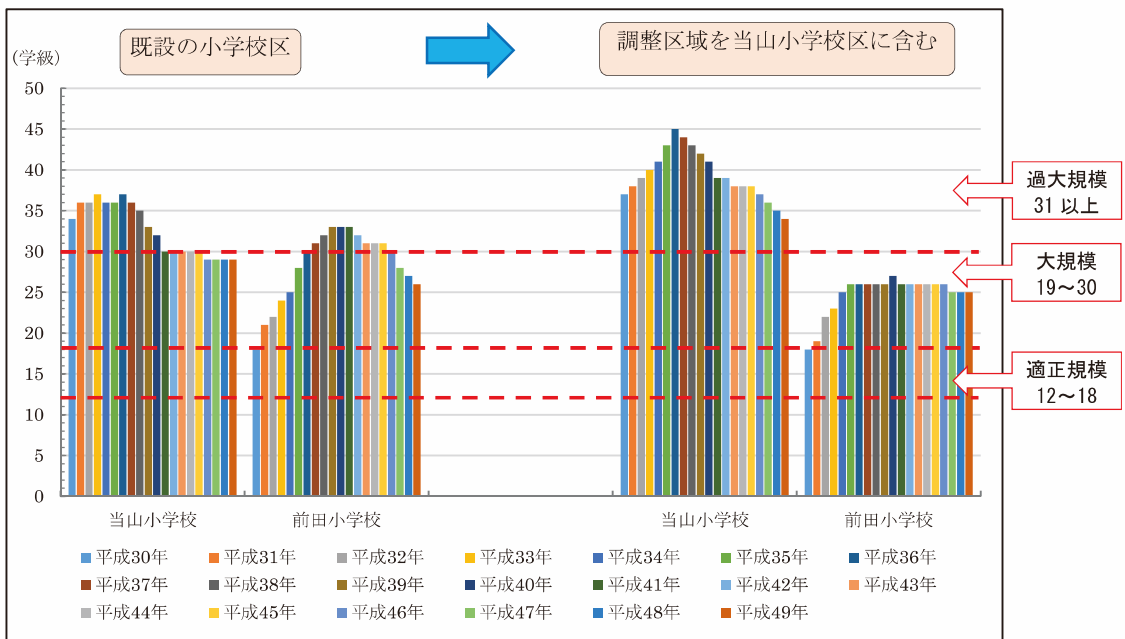
◆学級数への影響

図 3.10 学級数の推移(少人数学級編成(沖縄県))



- ・ 当山小学校は過大規模で推移すると見込まれるが、分離新設校が開校することで過大規模を解消することができる。
- ・ 前田小学校は一時的に過大規模校になるが、てだこ浦西駅周辺土地区画整理事業による人口増加の影響を受けないため、比較的に学校規模は安定する。

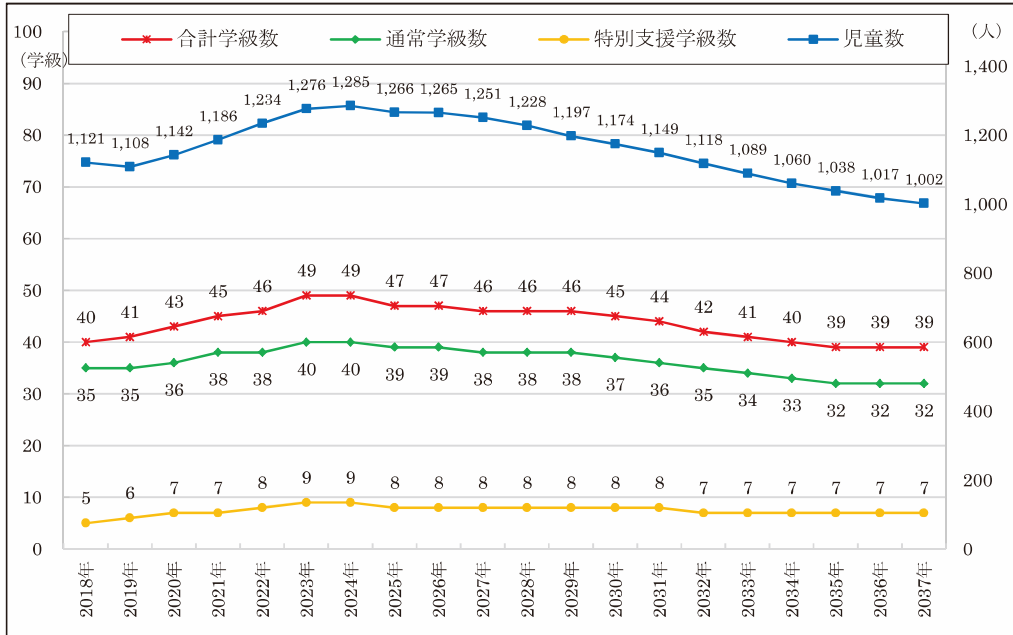
図 3.10-1 学級数の推移(国公立義務教育学校学級編制(国))



(4) 調整区域を含めた当山小学校の児童数・学級数の推移

調整区域を含めた場合の当山小学校の推計では、2024年（1,285人 49学級）にはピークを迎えることとなり、遅くとも分離新設校の開校をピークの前行い、過大規模を解消することが望まれる。

図 3.11 当山小学校の児童数・学級数の推計結果(少人数学級編成(沖縄県))



	平成30年 2018年		平成31年 2019年		平成32年 2020年		平成33年 2021年		平成34年 2022年		平成35年 2023年		平成36年 2024年		平成37年 2025年		平成38年 2026年		平成39年 2027年		
学年	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	
1学年	172	6	195	7	184	7	205	7	199	7	207	7	192	7	192	7	196	7	197	7	
2学年	180	6	169	6	199	7	189	7	209	7	204	7	207	7	193	7	193	7	197	7	
3学年	169	5	179	6	171	5	204	6	193	6	213	7	205	6	208	6	194	6	194	6	
4学年	187	6	167	5	182	6	177	6	209	6	199	6	214	7	206	6	209	6	196	6	
5学年	177	6	185	6	172	5	189	6	183	6	215	7	201	6	216	7	207	6	210	6	
6学年	203	6	175	5	191	6	178	6	194	6	188	6	216	7	202	6	217	7	208	6	
通常学級	1,088	35	1,070	35	1,099	36	1,142	38	1,187	38	1,226	40	1,235	40	1,217	39	1,216	39	1,202	38	
特別支援	33	5	38	6	43	7	44	7	47	8	50	9	49	8	49	8	49	8	49	8	
合計	1,121	40	1,108	41	1,142	43	1,186	45	1,234	46	1,276	49	1,285	49	1,266	47	1,265	47	1,251	46	
	平成40年 2028年		平成41年 2029年		平成42年 2030年		平成43年 2031年		平成44年 2032年		平成45年 2033年		平成46年 2034年		平成47年 2035年		平成48年 2036年		平成49年 2037年		
学年	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	
1学年	191	7	185	7	177	6	173	6	169	6	169	6	162	6	162	6	160	6	160	6	
2学年	195	7	189	7	183	7	175	6	171	6	167	6	167	6	160	6	160	6	158	6	
3学年	196	6	194	6	188	6	182	6	174	5	170	5	167	5	167	5	159	5	159	5	
4学年	193	6	195	6	193	6	187	6	181	6	173	5	169	5	166	5	166	5	158	5	
5学年	195	6	193	6	195	6	193	6	187	6	181	6	173	5	169	5	165	5	165	5	
6学年	209	6	194	6	192	6	194	6	192	6	186	6	180	6	172	5	167	5	163	5	
通常学級	1,179	38	1,150	38	1,128	37	1,104	36	1,074	35	1,046	34	1,018	33	996	32	977	32	963	32	
特別支援	49	8	47	8	46	8	45	8	44	7	43	7	42	7	42	7	40	7	39	7	
合計	1,228	46	1,197	46	1,174	45	1,149	44	1,118	42	1,089	41	1,060	40	1,038	39	1,017	39	1,002	39	